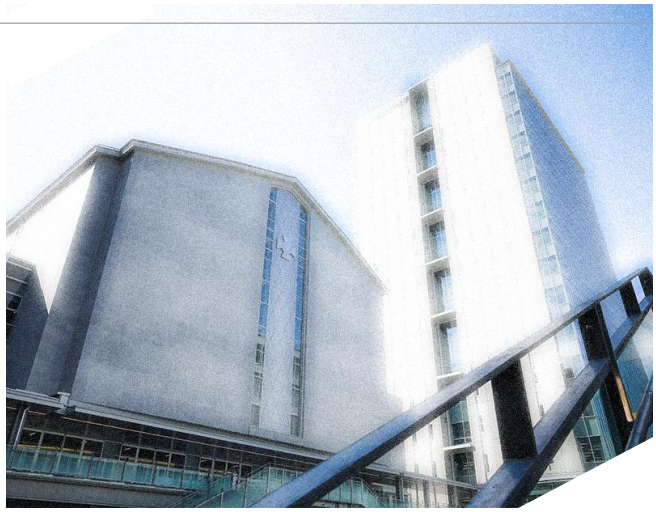
2026年度
東北学院大学入学者選抜
総合型選抜募集要項

初　版：2025年07月01日
更新日：
版　数：1.0



1 2 の両方を期日まで行うことで出願が完了

出願手続		A日程　出願期間		B日程　出願期間	
		第一次	第二次	第一次	第二次
1	WEB出願登録 と 入学検定料の支払い	2025年08月04日(月) ～ 2025年09月03日(水) 14時59分まで	2025年10月10日(金) ～ 2025年10月24日(金) 14時59分まで	2025年10月10日(金) ～ 2025年11月06日(木) 14時59分まで	2025年11月26日(水) ～ 2025年12月03日(水) 14時59分まで
2	出願書類の郵送 ※出願日より早く郵送されたものは出願期間初日に受付	2025年09月01日(月) ～ 2025年09月03日(水) 15時必着	2025年10月20日(月) ～ 2025年10月24日(金) 15時必着	2025年11月01日(土) ～ 2025年11月06日(木) 15時必着	2025年12月01日(月) ～ 2025年12月03日(水) 15時必着

目　　次

1.	はじめに	P03
1.1.	募集要項の内容変更と不測事態発生時の措置について	P03
1.2.	お問い合わせ先について	P03
1.3.	個人情報の取扱いについて	P04
1.4.	受験上の配慮について	P04
1.5.	学部・学科および募集定員	P05
1.6.	2026年度学生納付金等について	P05
2.	総合型選抜概要	P06
2.1.	募集定員	P07
2.2.	試験日程	P07
2.3.	出願資格	P08
2.4.	選抜の流れ	P09
2.5.	試験内容	P10
2.6.	総合型選抜における重要評価点（学科別）	P12
3.	第一次選抜出願	P13
3.1.	第一次選抜出願について	P14
3.2.	事前準備	P14
3.3.	WEB出願登録と入学検定料の支払い	P16
3.4.	出願書類の郵送	P16
4.	第一次選抜受験	P18
4.1.	「第一次選抜面接日時のお知らせ」の準備	P19
4.2.	試験日程詳細	P19
4.3.	選抜会場詳細	P20
5.	第二次選抜出願	P21
5.1.	第二次選抜出願について	P22
5.2.	事前準備	P22
5.3.	WEB出願登録と入学検定料の支払い	P24
5.4.	出願書類の郵送	P24
6.	第二次選抜受験	P25
6.1.	受験票準備と試験会場一覧の確認	P26
6.2.	試験日程詳細	P26
6.3.	選抜会場詳細	P27
7.	合格発表と入学手続き	P28
7.1.	合否照会システムとWEB出願サイト	P29
7.2.	第一次選抜評価通知日	P29
7.3.	合格発表日	P29
7.4.	合否照会システム	P30
7.5.	入学手続きについて	P31
付録.	東北学院大学の教育とアドミッション・ポリシー等	P32
	■東北学院について	P33
	■東北学院大学の教学上の３つの方針について	P33
	■学科の理念・目的、求める学生像	P43

1 はじめに

本募集要項には、入学者選抜の概要に加え、出願準備から受験に関わる内容、合格発表、そして入学手続きの流れを時系列順に記載しています。各種手続きや試験を受験される際に重要な事項をまとめておりますので、出願者の方だけでなく保証人の方も、内容を十分にご確認いただき、必要に応じて繰り返しお読みください。なお、出願が受理された時点で、本募集要項の記載内容に同意の上、受験するものといたします。

また、お問い合わせについては、原則として出願者ご本人からお願いいたします。制度の説明などは保証人の方にも対応可能ですが、出願者以外の方からのお問い合わせについては、個人情報保護の観点から回答できない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

1.1 募集要項の内容変更と不測事態発生時の措置について

●募集要項の記載事項の変更

募集要項に記載されている内容（選抜の方法・日程・会場など）の変更があった場合は、大学ホームページでお知らせしますので、出願及び試験の前には必ず確認してください。

●不測の事態の措置

地震、津波、洪水、暴風雨、台風、疫病、感染症、その他の天変地異、本学の責めによらない火災、その他の不可抗力により、記載している選抜内容や日程どおりに選抜や合格発表等を実施することが困難であると、本学にて判断した場合、選抜の延期や内容の変更等の措置をとることがあります。

試験実施日の前に発生した事象で措置が必要なものは対応が決まり次第、速やかに大学ホームページにて公開します。試験当日に事象が発生した場合、その内容に応じて適切な措置を講じます。必要に応じて試験会場でお知らせすることもありますので、ご理解のほどお願いいたします。

これらの不可抗力に伴ったやむを得ない事情による選抜内容等の変更に伴う出願者の個人的な損害について、本学として責任を負うことはいたしかねます。

●東北学院大学　入試・入学案内トップサイト

https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/admission/

1.2 お問い合わせ先について

1.2.1. WEB出願操作方法に関するお問い合わせ先

「学び・教育」出願サポートセンター（運用会社：株式会社キャリタス）

TEL：0120-202-079　365日24時間対応（ただし、各選抜のWEB出願期間のみ）

※このサポートセンターはWEB出願サイトの操作に関するお問い合わせ専用です。
※選抜概要、試験実施等、WEB出願の操作以外については東北学院大学入試部アドミッションズ・オフィスにご確認ください。

1.2.2.東北学院大学入試部アドミッションズ・オフィス

TEL：022-264-6455　月～金　9：00-17：00

※祝日、クリスマス（12月25日）、年末年始（12月29日～1月3日）を除く
※試験実施日当日は試験本部を設営するため連絡先が変更となる場合があります。
試験当日の連絡先が変更となる選抜については受験にかかる注意事項に記載します。

1.3 個人情報の取扱いについて

本学入学者選抜に出願される際は、WEB出願登録と出願書類の提出が必要となるため、出願者・保証人の個人情報をご提供いただきます。これらの情報は、入学選抜の実施や入学手続きに加え、入学後の学生情報の作成などにも活用されます（個人情報の利用目的の詳細については、以下に記載する『東北学院大学における個人情報の取扱いについて』をご確認ください）。

なお、WEB出願の登録をしていただいた時点で、上記の個人情報の取扱いや、入学後の教育・学習データの活用についてご同意いただいたものといたします。

1.3.1.東北学院大学における個人情報の取扱いについて

学校法人東北学院（以下「本院」といいます。）は、個人情報保護の重要性を認識し、「個人情報の保護に関する法律」に基づき「学校法人東北学院個人情報保護に関する基本方針」及び「学校法人東北学院個人情報保護規程」を定めております。本院教職員へはこれらの周知徹底を図り、個人情報の適正な管理と保護に努めております。

詳細については、法人ホームページをご確認ください。

URL：https://www.tohoku-gakuin.jp/general/privacy.html

1.3.2.東北学院大学における教育・学習データの取扱いについて

東北学院大学（以下「本学」といいます。）は、教育・学習活動において情報システム等に蓄積された教育・学習データについて、「1.個人情報保護」に準じて安全な方法で取得・保持・分析し、客観的データに基づく教育改善や学生等の学習支援を図ることを目的として、『東北学院大学教育・学習データ利活用ポリシー』及び『東北学院大学における教育・学習データの管理に関する基本方針』を策定し、学生個人の情報は適切に管理することとしています。教育・学習データをもとにした分析結果を学内外に公表する場合も、個人を特定できる内容が公になることはありません。詳細については、法人ホームページをご確認ください。

『東北学院大学教育・学習データ利活用ポリシー』及び『東北学院大学における教育・学習データの管理に関する基本方針』については、大学ホームページをご確認ください。

URL：https://sites.google.com/g.tohoku-gakuin.ac.jp/tgu-dx-portal/ホーム/
東北学院大学におけるdxへの考え方

1.4 受験上の配慮について

病気・負傷及び身体障がい、発達障がい、精神障がいなどのため、受験上の配慮が必要な方は、出願（入学検定料納付前）の２ヶ月前までに必ずアドミッションズ・オフィスへ連絡してください。申請は下表に従ってください。必要な場合、本学において出願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等の面談等を行うこともあります。なお、ご相談いただいた内容によっては、ご希望に添えないこともありますので、予めご了承ください。

※申請内容は入学試験の合否には一切影響しません。

①東北学院大学入試部アドミッションズ･オフィスに申請希望することを連絡。

▼

②東北学院大学入試部アドミッションズ･オフィスより、「受験上の配慮申請書」を取得。

▼

③ 必要事項を記入した書類に加え、「障害者手帳」のコピー又は医師の「診断書」のコピーを提出。

▼

④ 東北学院大学入試部アドミッションズ･オフィスより申請内容について、回答をいたします。

提出書類	「受験上の配慮申請書」に加え、 「障害者手帳」のコピー又は医師の「診断書」のコピー	連絡先	〒980-8511　仙台市青葉区土樋1-3-1 東北学院大学 入試部アドミッションズ･オフィス TEL022-264-6455　FAX022-264-6377
申請期限	出願の2か月前まで		

●修学上の配慮：入学後の修学における支援（合理的配慮）について

入学後の修学における支援（合理的配慮）は、受験上の配慮の内容と異なります。入学後の修学に関する支援についてのご質問やご相談についても、まずはアドミッションズ・オフィスまでご連絡ください。特に、支援内容として施設の改修や設備設置、特別な人員配置等を希望される場合には、対応までに相当の時間を要したり、本学では対応ができない場合もあり得ますので、授業開始に合わせた支援に向けて、受験前のできるだけ早い段階（出願の４ヶ月前程度）にご相談ください。

本学への進学にあたっての不安をなくし、希望する大学生活を送っていただくためには、事前に希望される本学での学びについて十分知ってから受験していただくことが大切だと考えております。受験を検討する前にオープンキャンパスに参加して、キャンパスや入学を希望する学部・学科の様子を見学したり、授業等について教職員に確認してみたりすることをお勧めします。また、オープンキャンパスでは障がい学生支援の相談ブースも設けておりますので、ぜひご利用ください。

●入学後の修学における支援（合理的配慮）の手続きについて

入学後の修学に関する支援の申請は、入学後（4月1日以降）にあらためて学生健康支援センター学生支援室で行っていただく必要があります。手続き等につきましては本学ウェブページにてご確認ください。

東北学院大学学生健康支援センター学生支援室

https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/facilities/center/health/supportroom.html

1.5 学部・学科および募集定員

学部	学科	募集定員	一般選抜 前期日程 A日程	一般選抜 前期日程 B日程	一般選抜 後期日程	東日本地域別スカラシップ選抜	大学入学共通テスト利用選抜 前期	大学入学共通テスト利用選抜 後期	総合型選抜 A日程	総合型選抜 B日程	学校推薦型選抜 学業成績による推薦	学校推薦型選抜 キリスト者等推薦	学校推薦型選抜 資格取得による推薦 指定校	学校推薦型選抜 資格取得による推薦 公募A日程	学校推薦型選抜 資格取得による推薦 公募B日程	学校推薦型選抜 スポーツ推薦	学校推薦型選抜 文化活動推薦	学校推薦型選抜 TG併設校推薦	外国人留学生特別	社会人特別選抜
文学部	英文学科	150	23	22	4	全学科の合計が36名	7	3	23	2	40	1				4	3	16	1	1
	総合人文学科	60	10	10	3		8	2	6	1	7	2				2	1	6	1	1
	歴史学科	170	31	30	7		13	3	18	2	38	1				4	3	18	1	1
	教育学科	70	14	13	3		5	2	10	2	6	1				2	2	8	1	1
経済学部	経済学科	430	100	100	10		30	11	33	2	60	3				27	4	44	1	5
経営学部	経営学科	341	59	58	14		25	9	39	2	48	2	15	5	5	19	4	34	2	1
法学部	法律学科	355	77	77	10		35	8	31	4	46	2				20	5	36	2	2
工学部	機械知能工学科	115	22	21	4		9	2	10	2	25	1				3	2	12	1	1
	電気電子工学科	130	24	22	5		10	2	13	2	30	1				3	2	14	1	1
	環境建設工学科	115	22	21	4		9	2	14	2	21	1				3	2	12	1	1
地域総合学部	地域コミュニティ学科	150	30	30	5		13	4	15	3	20	1				9	2	16	1	1
	政策デザイン学科	145	30	30	5		10	2	22	2	20	1				5	2	14	1	1
情報学部	データサイエンス学科	190	38	38	5		15	2	17	3	33	1		2		11	3	20	1	1
人間科学部	心理行動科学科	165	33	33	6		12	3	26	3	18	2				9	2	16	1	1
国際学部	国際教養学科	130	30	24	2		12	2	19	2	18	1				2	2	14	1	1
合　計		2716	543	529	87		213	57	296	34	430	21	15	7	5	123	39	280	17	20

※東日本地域別スカラシップ選抜の定員は、一般選抜前期Ａ日程の内数となり、全学科の合計が36名となります。
※「TG併設校推薦」は、併設高校(東北学院高等学校、東北学院榴ケ岡高等学校)を対象とした推薦選抜です。
※学業成績による推薦の情報学部データサイエンス学科の定員には女子枠3名が含まれます。

1.6 2026年度学生納付金等について

①学生納付金の詳細は本学ホームページより確認することができます。
②2026年度学生納付金等については、決定次第大学ホームページで発表します。
　発表前は金額が変更となることがありますが、「2025年度入学生について」を参考としてください。

URL：https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/campuslife/tuition/noufu.html

学生納付金以外に必要なお金

- **教科書代**
  履修する授業により異なります。教科書を使わない授業もあれば、教科書（1冊数百円から数千円）を使用する授業もあります。
- **ノートパソコン代**
  授業等でノート型パソコンを使用します。詳しくは、入学手続の際にお知らせいたします。
- **資格取得にかかる実習費等**
  【学部学科によって取得可能な資格が異なりますので、大学ホームページ等でご確認ください】

２．総合型選抜概要

2.1 募集定員

「学部・学科および募集定員」（５ページ表）を参照してください。

2.2 選抜日程

■総合型選抜　第一次選抜

	出願期間		面接期間 ※2	評価通知日時※5
A日程	WEB出願登録 ※3 入学検定料の支払い	2025年08月04日(月)　～ 2025年09月03日(水)14時59分まで	2025年09月20日(土) ～ 2025年10月05日(日)	2025年10月10日(金) 15時公開 ※6
	出願書類の郵送 ※4	2025年09月01日(月)　～ 2025年09月03日(水) 15時必着		
B日程	WEB出願登録 ※3 入学検定料の支払い	2025年10月10日(金)　～ 2025年11月06日(木)14時59分まで	2025年11月22日(土) ～ 2025年11月23日(日)	2025年11月26日(水) 15時公開 ※6
	出願書類の郵送 ※4	2025年11月01日(土)～ 2025年11月06日(木) 15時必着		

■総合型選抜　第二次選抜

	出願期間		選抜実施日	合格発表日時※5
A日程	WEB出願登録 ※3 入学検定料の支払い	2025年10月10日(金)　～ 2025年10月24日(金)14時59分まで	2025年11月20日(木)	2025年12月01日(月) 10時公開 ※7
	出願書類の郵送 ※4	2025年10月20日(月)～ 2025年10月24日(金) 15時必着		
B日程	WEB出願登録 ※3 入学検定料の支払い	2025年11月26日(水)　～ 2025年12月03日(水)14時59分まで	2025年12月13日(土)	2025年12月19日(金) 10時公開 ※7
	出願書類の郵送　※4	2025年12月01日(月)～ 2025年12月03日(水) 15時必着		

●選抜日程留意事項

※1 本書に記載している日時はすべて日本標準時です。
※2 第一次選抜の面接日は、上記面接期間の土曜日または日曜日に実施します。
※3 WEB出願登録及び入学検定料の支払いと出願書類の郵送の締切最終日は同日としていますが、一部WEB出願登録後に出力される資料を出願書類としているため、郵送期間を考慮し余裕をもって出願登録を行ってください。
※4 提出書類は必ず簡易書留および速達による郵送を行ってください。
※5 第一次選抜評価確認、合格確認はWEB出願システムから行ってください。発表日時から５日間程度の期間のみ合否照会システムでも結果の簡易確認が行えます。
※6 上記の評価通知日時以降、WEB出願システムから評価通知書をダウンロードすることができます。
※7 上記の合格発表日時以降、WEB出願システムから合格通知書をダウンロードすることができます。

■その他の日程

		A日程　第一次選抜	A日程　第二次選抜	B日程　第一次選抜	B日程　第二次選抜
1	第一次選抜面接日時のお知らせ日公開	2025年09月16日(火)16時	—	2025年11月17日(月)16時	—
2	第二次選抜受験票公開	—	2025年11月17日(月)16時	—	2025年12月10日(水)16時
3	合否照会システム照会期間	2025年10月10日(金)15時～ 2025年10月14日(火)17時	2025年12月01日(月)10時～ 2025年12月05日(金)17時	2025年11月26日(水)15時～ 2025年11月30日(日)17時	2025年12月19日(月)10時～ 2025年12月23日(火)17時
4	入学手続きサイト公開日	—	2025年12月01日(月)10時	—	2025年12月01日(月)10時
5	入学手続き期間	—	2025年12月01日(月)10時～ 2025年12月17日(水)15時	—	2025年12月19日(金)10時～ 2026年01月08日(木)15時

2.3 出願資格

2.3.1.総合型選抜　第一次選抜　A日程

次のすべてに該当する方です。
①高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方、または2026年3月卒業見込みの方、ならびに大学を受験できる資格を取得した方、または2026年3月までに取得見込みの方
②出願する本学の学部学科への入学を強く希望し、合格した場合、必ず入学手続きをする意思のある方
③出願する本学の学部学科に入学した場合、その学科で学ぶ学生として、積極的で有意義な学生生活を送ることができる学力、意欲、適性をもっており、それをアピールできる方

2.3.2.総合型選抜　第二次選抜　A日程

次のすべてに該当する方です。
①高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方、または2026年3月卒業見込みの方、ならびに大学を受験できる資格を取得した方、または2026年3月までに取得見込みの方
②出願する本学の学部学科への入学を強く希望し、合格した場合、必ず入学手続きをする意思のある方
③出願する本学の学部学科に入学した場合、その学科で学ぶ学生として、積極的で有意義な学生生活を送ることができる学力、意欲、適性をもっており、それをアピールできる方
④2026年度総合型選抜の第一次選抜（A日程）に出願し、その合否判定がA、B、Cのいずれかの評価を受けた方

2.3.3.総合型選抜　第一次選抜　B日程

次のすべてに該当する方です。
①高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方、または2026年3月卒業見込みの方、ならびに大学を受験できる資格を取得した方、または2026年3月までに取得見込みの方
②出願する本学の学部学科への入学を強く希望し、合格した場合、必ず入学手続きをする意思のある方
③出願する本学の学部学科に入学した場合、その学科で学ぶ学生として、積極的で有意義な学生生活を送ることができる学力、意欲、適性をもっており、それをアピールできる方

※ただし、2026年度総合型選抜の第一次選抜（A日程）に出願した方は、同一学科には出願できません。

2.3.4.総合型選抜　第二次選抜　B日程

次のすべてに該当する方です。
①高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方、または2026年3月卒業見込みの方、ならびに大学を受験できる資格を取得した方、または2026年3月までに取得見込みの方
②出願する本学の学部学科への入学を強く希望し、合格した場合、必ず入学手続きをする意思のある方
③出願する本学の学部学科に入学した場合、その学科で学ぶ学生として、積極的で有意義な学生生活を送ることができる学力、意欲、適性をもっており、それをアピールできる方
④2026年度総合型選抜の第一次選抜（B日程）に出願し、その合否判定がA、B、Cのいずれかの評価を受けた方

2.4 選抜の流れ

第一次選抜と第二次選抜の評価を総合して合否を判定します。選抜の流れは次のとおりです。

第一次選抜への出願
「WEB出願登録と入学検定料の支払い」
「第一次選抜」出願書類の郵送

↓

面接日時の決定・通知
WEB出願サイトにて出願者へ直接通知

↓

面接の実施
30分程度の個人面接
（学科によっては面接以外の試験も行います）

↓

第一次選抜評価結果の通知
WEB出願サイトにて出願者へ直接通知

- 評価Ａ 評価Ｂ 評価Ｃ → 第二次選抜へ
- 評価Ｄ＝不合格

↓

第二次選抜への出願
「WEB出願登録と入学検定料の支払い」
「第二次選抜」出願書類の郵送

- 第一次評価 ＡとＢの方 → **第二次選抜の実施** 小論文，書類審査（面接なし）
- 第一次評価 Ｃの方 → **第二次選抜の実施** 小論文，面接

↓

合格発表

●**第一次選抜**
書類審査と面接（経済学科・法律学科・地域コミュニティ学科・政策デザイン学科はプレゼンテーションおよび個人面接）よって、 A、B、C、Dの４段階で評価します。

●**第二次選抜**
第一次選抜でA、B、Cの評価を受けた方が出願できます。

●**第二次選抜**
第一次選抜の評価A、Bの方は
［小論文と出願書類審査］

第一次選抜の評価Cの方は
［小論文と出願書類に基づく面接］
と試験内容が異なります。

2.5 選抜内容

2.5.1.第一次選抜

出願時に「第一次選抜審査申請書」を提出し、提出書類の内容を中心に書類審査と面接を行います。
書類審査と面接（学科によって面接以外の審査もあります）によって、 4段階評価（ A、B、C、D ）評価をします。
ただし、書類審査の結果により不合格となる場合もあります

●第一次選抜の評価
第一次選抜の４段階評価（ A、B、C、D ）の内容は次の通りです。なお、第二次選抜はA、B、C評価の方のみが出願できます。

評価結果	評　価　内　容
A	合格の可能性が極めて高いが、第二次選抜の結果しだいでは不合格もありうる
B	合格の可能性が高いが、第二次選抜の結果しだいでは不合格もありうる
C	不合格の可能性が高いが、第二次選抜の結果しだいでは合格もありうる
D	不合格とする

●面接について
基本的に個人面接形式で行います（30分程度）。出願した学部学科の学生として望まれる学力、意欲、適性をどの程度もっているかなどについて質問をします。以下の学科では次の審査も実施します。

学　科　名	説　明　内　容
英文学科	英文学科では一定の英語資格・検定試験［ケンブリッジ英語検定、英検、GTEC、TOEIC L&R /TOEIC S&W、TOEFL iBT、IELTS、TEAP、TEAP CBT］の成績を第一次選抜の得点に反映します。試験の成績証明書がある方は面接時に持参してください（証明書のコピーは不可。証明書原本はその場で確認し、返却します。）。
経済学科	経済学科では「関心のある経済問題」をテーマに、（1）問題の背景と現状（2）対策案について自分で考えたことを5分以内でプレゼンテーションしてもらいます。経済問題とは、経済成長、経済政策、所得格差、労働問題、社会保障などです（これ以外でも構いません）。なお自分で作成した紙面での資料を3部用意してください。電子機器を使用した発表はできません。
法律学科	法律学科では「法または政治」に関して下記に提示されたテーマから1つを選び、調べた内容、自分の考えなどを5分程度で面接時間中にプレゼンテーションしてもらいます。それらについて論理的に道筋を立てて表現することができているかなどを総合的に評価します。今年度のプレゼンテーションのテーマは**「インターネットを使った選挙運動を規制すべきか」「『年収の壁』に関する問題点と解決策」**の2つです。なお自分で作成した紙面での資料を用意して構いません。その際にはご自身のもの以外に2部ご用意ください。電子機器を使用した発表はできません。 ※法律学科ではプレゼンテーションの準備や発表のヒントを「法学部総合型選抜受験生向け情報」として法学部のウェブページに掲載しています。資料作成や発表準備の参考にしてください。 https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/faculty/law/about/sougou.html
地域コミュニティ学科	地域コミュニティ学科では**「よりよい地域づくり」**のための課題を各自で設定し、その内容について5分程度で面接時間中にプレゼンテーションしてもらいます。取り上げる内容への着眼点、調査方法、探求・解決方法、独創性、表現力などで総合的に判断します。なお自分で作成した紙面での資料を用意しても構いません。電子機器を使用した発表はできません。
政策デザイン学科	**・プレゼンテーションの概要** 政策デザイン学科では、「私が取り組んでみたい地域社会の課題」をテーマに、5分程度で面接時間中にプレゼンテーションをしてもらいます。発表当日は、自作のA3サイズ以下の紙面での資料を、自身のもの以外に2部ご用意ください。電子機器を使用した発表はできません。内容は、第一次選抜審査申請書の「探究学習」と同じでも構いません。 **・テーマの設定について** プレゼンテーションのテーマとなる「地域社会の課題」というのは、例えば、少子高齢化、地域福祉、地方財政、経済格差、地域振興、労働問題、災害と復興、市民活動、ジェンダー、多文化共生、差別問題などですが、これら以外のものから自由に設定することも可能です。テーマは、本学のウェブサイトで公開されている政策デザイン学科のカリキュラムなどを参考にしつつ設定してください。 **・評価について** 評価の観点は、「論理性」「客観性」「発表の準備が適切にできているか」です。何が問題になっており、どんな解決策が提案されているのかなどを簡潔にまとめ、論理的で具体的な記述を心掛けてください。また、参照した本や資料がある場合は出典を明記してください。

2.5.2.第二次選抜

●**第一次選抜でAまたはBの評価を受けた方**
小論文と出願書類審査を行い、その結果と第一次選抜における評価を総合することで最終的に合否を判定します。

試験科目	第一次選抜	小論文	書類審査	合計
配点	２００	１００	１００	４００

●**第一次選抜でCの評価を受けた方**
小論文と出願書類に基づく面接を行い、その結果と第一次選抜における評価を総合することで最終的に合否を判定します。

試験科目	第一次選抜	小論文	面接	合計
配点	２００	１００	１００	４００

<選抜内容>
①小論文
【文学部・経済学部・経営学部・法学部・地域総合学部・情報学部・人間科学部・国際学部】
与えられた文章の要約や自分の意見の論述をします。（60分：800字程度）
【工学部】
与えられたテーマに関して、自分の意見の論述をします。（60分：600字程度）

②面　接（第一次選抜でC評価を受けた方のみ）
二人の面接試験担当者による個人面接を行います。（5～10分程度）

2.6 総合型選抜における重要評価点（学科別）

学部	学科	重要評価点
文学部	英文学科	1.十分な学力の裏付けがあること。 2.英語を含む外国語学習に強い意欲をもち実践していること（第一次選抜の面接において、短い英文を音読してもらい、その内容について質問に答えてもらう場合がある）。英語資格･検定試験の成績を第一次選抜の得点に反映させるので、成績証明書（コピー不可）を第一次選抜の面接時に持参すること。 3.知的好奇心が旺盛であること（第一次選抜の面接において、読書経験について答えてもらう場合がある）。 4.論理的な思考力を有し、自分の言葉で自分の考えを明確に説明できること。 5.英文学科のカリキュラムを十分に理解し、4年間の勉学プランをもっていること。
	総合人文学科	1.思想・哲学、文化・芸術、宗教・神学などの人文諸学に関心をもっていること。 2.国語や英語をはじめとした基礎学力を十分に有していること。 3.読解力を有し、自分の考えを論理的に表現する力をもっていること（第一次選抜の面接で読書経験を尋ねられることがある）。 4.社会に対して強い関心をもち、積極的にかかわろうとする姿勢を有していること。また、時事問題に関して、自分の言葉で説明できること。 5.総合人文学科の理念・目的、教育目標を十分に理解し、本学科での勉学に強い意欲を有していること。
	歴史学科	1.論理的な思考力を有し、自分の言葉で考えを明確に説明することができること。 2.歴史に関する基礎知識を有していること。 3.歴史学科で何を学びたいのか、目的がはっきりしていること。 4.好奇心旺盛で、自分から率先して学び調べようとする積極性があること（第一次選抜の面接において、読書経験を尋ねられることがある）。 5.幅広い知識を吸収できる柔軟な思考・十分な基礎学力を有していること。
	教育学科	1.十分な基礎学力を有し、知的好奇心が旺盛であること。 2.論理的な思考力を有し、自分の言葉で自分の考えを明確に説明することができること。 3.人の学びと教育に関して、強い関心をもっていること。 4.本学科のカリキュラムを十分に理解し、4年間の勉学に関するプランをもっていること。
経済学部	経済学科	1.国語･数学･英語の基礎学力が十分にあること。 2.経済学科の理念、教育目標･到達目標について理解していること。 3.経済学科の開講科目に強い関心を持ち、学ぶ目的がはっきりしていること。 4.社会･経済の動きに強い関心を持ち、その背後にある理由や解決策を探究したいという強い意欲を持っていること。 5.論理的に考え、自分の意見を明確に主張できること
経営学部	経営学科	1.国語・数学・英語の十分な学力があること（面接では左記科目の学力を確かめることを目的とした質問をする場合がある）。 2.本学部を志望する経緯について明確に説明できること。 3.本学部で何を学び、それを将来どのように活かすかについての明確なビジョンをもち、それを実現するための学修プランをもっていること。 4.社会や経済、経営全般に関して興味や疑問をもったことについて、深く掘り下げて調べ、明らかにした結果を自分の言葉で説明できること（第一次選抜の面接において、説明してもらう場合がある）。

2026年度総合型選抜募集要項

学部	学科	重要評価点
法学部	法律学科	1.学びの基礎となる「国語」「外国語（英語）」「公民」の学力が法学部の水準に達していること。 2.文章を正しく理解するために必要な読書の習慣があること。 3.ニュースに定期的に接する（具体的には、新聞を読む、その他のメディアで視聴する）ことにより、法や政治への関心や知識をもっていること。 4.将来への目標を有しており、そのために必要となる法学部での学習内容を理解し、学習への意欲を十分にもっていること。 5.物事を筋道を立てて説明でき、自分なりの言葉で表現できること（第一次選抜の際に、「法または政治」に関する事柄をテーマに5分程度のプレゼンテーションをしてもらう）。
工学部	機械知能工学科	1.機械工学を学ぶために必要な数学、物理、英語の基礎学力をもち、自分自身で問題を発見し、解決するための方法を考え、解決しようとする姿勢をもっていること。 2.総合型選抜により入学しようとするはっきりとした理由とそれを明らかにできる活動や経験があり、それを面接委員に十分に伝えられること。 3.技術者として必要な自立・自律する心を育てることと、社会の一員としての責任を自覚して、積極的に学ぼうとする意欲をもっていること。 4.学科のカリキュラムについての調査および把握をしたうえで、大学での勉学に対する意欲をもっていること
	電気電子工学科	1.電気電子工学科の教育内容を十分に理解したうえで、総合型選抜を選択した理由、勉学動機と目標を明確に説明できること。 2.電気電子工学を学ぶために必要な数学・物理・英語の基礎学力をもち、自ら学習しようとする積極性を有すること。 3.先端科学技術に強い関心をもち、強い学習意欲と高い目標をもっていること。
	環境建設工学科	1.環境、土木、建築での学習に必要な基礎学力を有していること。 2.環境、土木、建築で不可欠な科目（数学、力学、計画、設計製図、実験など）を学ぶ強い意欲があること。 3.環境、土木、建築の技術者として、社会への貢献を希望していること。
地域総合学部	地域コミュニティ学科	1.本学科で学ぶための十分な学力を有し、学科の教育内容を理解し、志望理由を明確に表現できること。 2.「よりよい地域づくり」に強い関心をもち、それを深く探究・解決しようとする意欲があること（第一次選抜の際、「よりよい地域づくり」について5分程度のプレゼンテーションをしてもらう）。 3.校内外の活動に積極的に取り組んできた経験をもち、その内容を自らの言葉で表現し説明できること。 4.将来も地域に積極的にかかわっていこうとする明確な目的と意欲をもっていること。
	政策デザイン学科	1.本学科の教育内容とその特色をよく理解し、本学科で学ぶのに十分な基礎学力を有していること。 2.本学科で学びたいという明確な意志をもっており、審査申請書について自分の言葉で適切に記述し説明できること。 3.地域が抱える具体的な社会課題に関心をもち、関連する事柄を深く調べたうえで自分の言葉で筋の通った説明ができること（第一次選抜の際に「私が取り組んでみたい地域社会の課題」をテーマに5分程度のプレゼンテーションをしてもらう）。 4.地域課題の解決に貢献しようとする意欲をもっていること。
情報学部	データサイエンス学科	1.大学で学ぶための基礎学力と理解力をもち、情報科学系、数理科学系、社会科学系のいずれかの科目に強い関心をもっていること。 2.本学科のカリキュラムを理解し、目的意識をもちながら専門的に学ぶ意欲があること。 3.一般社会においてデータや情報がどのような役割を果たしているかを理解し、関連する諸学問分野にも広く関心があること。 4.人々と積極的にコミュニケーションを図ってきた経験をもち、そのことを具体的に説明できる表現力をもっていること。
人間科学部	心理行動科学科	1.人間の心や身体、社会の問題に関して深い理解が得られるような本を積極的に読み、その内容を的確に理解する基礎的な学力を有すること。 2.人間の心や身体、社会の問題を実証的に分析する基礎となる数学的思考力を備えていること。 3.自分の興味関心と将来の目標について筋道を立てて自分なりの言葉で説明できること。 4.人間に対する探究心をもつとともに、本学科の提供する教育内容について自ら調べて、志望理由を明確に表明できること。
国際学部	国際教養学科	1.外国語学習への意欲をもち、何かしらの実践をしていること。 2.どんなことをなぜ学びたいのかが明確であること。 3.自分と異なる背景を持つ人と接した経験があること。 4.書物や新聞などを読み、知識や教養を深めようとしていること。 5.「国際」とはどのようなことを意味するか、自分の経験や知識に基づいて具体的に説明できること。

３．第一次選抜出願

3.1 第一次選抜出願について

第一次選抜の出願は「WEB出願登録と入学検定料の支払い」及び「出願書類の提出」を行うことで完了します。

3.2 事前準備

WEB出願には以下を準備いただく必要があります。

NO.	項　目	詳　細
W1	インターネット環境	インターネットに接続されたパソコンやスマートフォン、タブレット端末が必要になります。システム利用環境は以下をご確認ください。 ◎WEB出願システム利用環境 https://e-apply.jp/ds/tohoku-gakuin/public/preparation
W2	カラー印刷環境	白色のA4用紙で提出いただく出願書類を印刷する必要があります。 自宅にプリンターがない場合は、学校や知人、コンビニエンスストアのプリントサービス等、PDFファイルをカラー印刷できる環境を準備してください。
W3	出願者の個人メールアドレス	WEB出願システムのアカウント登録に利用します。 出願者本人のみが利用できる個人所有のメールアドレスをご用意ください。 なお、複数のメールアドレス登録は行えません。 **×利用禁止メールアドレス** 出身校が発行したメールアドレス メーリングリスト/共有メールアドレスなどの個人メールでないもの **○利用可能メールアドレス** Google、Apple、Microsoftなどのフリーメールが利用可能です。 ※メール受信のドメイン指定をされている方は、「@e-apply.jp」、「@mail.tohoku-gakuin.ac.jp」から受信できるよう設定してください。 **◎推奨メールアドレス** 大学に入学したあともそのまま継続して利用できるメールアドレスを推奨します。 ※試験に合格、その後、入学手続きを完了し入学を許可された方は、WEB出願システムにアカウント登録いただいたメールアドレスを、本学の学生管理システムの本人連絡先として登録することを予定しております。
W4	顔写真データ	次ページの顔写真を満たすものを、WEB出願システムにアップロードしていただきます。 ※出願書類への顔写真の貼り付けはありませんので、写真の用意は不要です。 顔写真データのみご準備ください。

■WEB出願登録前に事前確認することを推奨する内容

●登録する保証人の情報（氏名、出願者との続柄、住所、連絡先等）

事前に保証人の方と相談の上、WEB出願登録を行ってください。

※後述する出願書類「DI-2：誓約書・同意書」に保証人の方、ご本人にも記載内容を確認し、同意いただいた結果として氏名を自署することになります。そこでサインいただく方の情報をWEB出願上、保証人情報として登録してください。

※保証人情報の利用目的

・選抜や各種手続きにおける保証人からの問合せ時の保証人本人確認

・入学後の学生管理システムの保証人情報としての登録情報

●出願者本人に関する登録情報

・高等学校もしくは中等教育学校の出身校情報等を入力いただきますので出身校の課程や学科など確認してから出願登録を進めてください。廃校や統廃合で出身校が見つからない場合は「出身校はみつからない場合はこちらから検索」を行い、出身校の都道府県を選択し、「上記以外の高等学校等」を選択してください。

※通信制の出身校の場合は、出身校の設置都道府県が在住の都道府県とは異なる場合があります。

課程　　：全日制、定時制、通信制、その他

学科　　：普通、商業、農業、工業、水産、理数、総合、情報、認定、高専、専修、その他

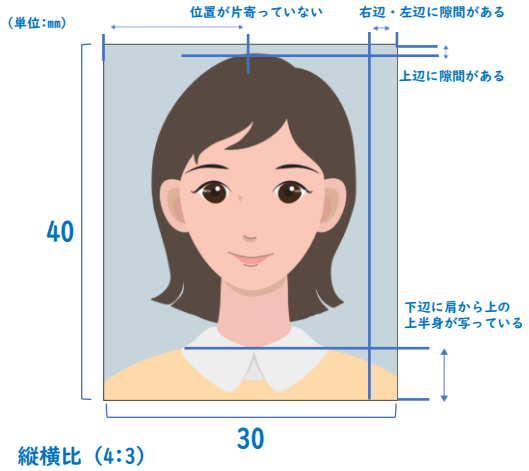
※表示される出身校名は大学入学センターの出身校データを利用しているため、県立などの設置区分や高等学校、高等専門学校などの表記は省略されます。

・ご実家以外にお住まいの場合、現住所とご実家のどちらを登録するかは出願者にお任せします。
本選抜に関連する一連の入試業務において、出願者宛の郵送物の送付予定はありません。
ただし、奨学金候補生等、入学前の本学郵送物の送付先として利用させていただく場合がありますので、確実に郵送物を出願者が確認できる住所を登録してください。

3.2.1.顔写真

出願時に提出頂く顔写真は、「入学者選抜（選考）当日の本人確認」と「大学入学後の学生証」の顔写真として利用します。本人証明として利用する大切な写真となるため、以下の条件を満たす顔写真を準備してください。条件を満たす顔写真であれば、所有するデジタルカメラ、スマートフォン、タブレット等を使用して撮影したものでもかまいません。

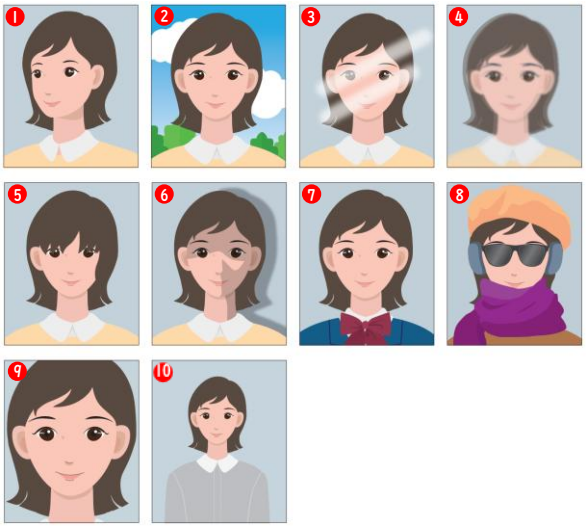
○適当な写真例



◆必須要件
- □ 2025年5月1日以降に撮影したもの。
- □ 出願者本人のみが写っているもの。
- □ 縁なしで左図のイメージを満たすもの。
- □ 肩から上の上半身が写っており、正面を向いているもの。
- □ 無帽であるもの。
  （宗教上又は医療上の理由により要件を満たせない場合、出願前に出願者より大学に申出を行い、大学に事前に認られた場合、顔の輪郭がわかる範囲で頭部を布等で覆うこと許容する）
- □ 輪郭が露出しているもの。（頭部、両耳、鼻、唇、顎）
- □ 両目の瞳が確認できるもの。
- □ 背景（影を含む）は、無地の単色であること。
  （学生証が白地であるため単色でも白色は不可）
  （単色でも背景色のグラデーションは不可）
  （風景やカーテン、模様のある壁紙は不可）
- □ 鮮明なカラー画像であること。（白黒画像は不可）

◆WEB出願登録写真データ要件
- □ 写真データはjpeg/png/bitmap/gifのいずれかであること。
- □ 写真データのサイズ上限が10MB以下であること。

×不適当な写真例



①顔の向きや位置、表情などが適さない。
（傾いている、横向き、目線が正面でない、位置が片寄る、口角があがっており自然体の顔でない等）
②背景が白色を除く無地の単色ではない。
（異物の写り込み、壁の柄模様、頭・髪・服装等と背景の境界が不明瞭なもの）
③白飛びしているものや照明の反射が写り込んでいるもの。
（照明やフラッシュ等の反射等で、白飛びや瞳が確認できない等の理由で個人が判別できないもの）
④ピンボケや手ぶれで不鮮明である。
⑤髪で耳などの顔の輪郭が隠れたり、髪が目にかかっている。
⑥顔や背景に影がある。
⑦高等学校等の制服や制服に見える服装で撮影されたもの。
⑧装飾品を着用しているもの。
（帽子やヘアバンド等で頭部が隠れている）
（装飾品で目、耳、鼻、唇等が隠れている）
（マフラーやタートルネック、パーカーのフードで等で顎の輪郭を隠している）
（カラーコンタクトや瞳の縁を広げるコンタクトを装着したもの）
⑨顔によって撮影しすぎており、肩から上の上半身の全体が撮影されていなかったり、必要な隙間を取っていない。
⑩肩から下の上半身まで写っており、顔が小さすぎるもの。

※この写真は、選抜（選考）の際の本人確認で利用するだけでなく、大学生活４年間で利用する学生証の写真となりますので、出願者の責任において身分証明書に適するものを提出してください。大学から不適当と判断されない限り、WEB出願時から入学前までの変更は受け付けておりません。入学後、学生証の顔写真の変更を希望する場合は、学生課での手続きと再発行手数料が必要となりますが可能です。詳細は大学ホームページ掲載の「学生証の再発行」をご確認ください。
※選抜（選考）時および学生証の身分証明書として利用するため、目を大きく見せたり、美白処理、顔パーツやほくろ、しわ等を修正する等して、本人のイメージを変えたものは不適当です。証明写真作成用アプリを利用する場合においても「画像加工・画像処理」は背景色の変更にとどめてください。
※既にプリントされている証明写真等を再撮影（複写）した画像データは使用できません。
※WEB出願サイトで顔写真をアップロードした際に黒塗の写真になった場合は、顔写真データが指定の形式でない場合があります。データ形式やデータサイズ上限を確認の上、再度アップロードしてください。なお、ファイル名の拡張子の変更のみではデータ形式は変更となりません。データ加工の支援は行いませんので各自で方法をご確認ください。

3.3 WEB出願登録と入学検定料の支払い

WEB出願システムにアカウント登録を行い、WEB出願期間内に総合型選抜第一次選抜に出願登録を行ってください。

●**WEB出願システムTOPページ**：https://e-apply.jp/ds/tohoku-gakuin/

●**留意事項**

※ 年度内に既にアカウント登録済みの場合は新たなアカウント登録は不要です。
別選抜で既にアカウント登録済の方はマイページより総合型選抜第一次選抜の出願登録を行ってください。

※ 出願書類の郵送に必要な「入学志願票」と「本学指定の宛名ラベル」がWEB出願登録後にWEB出願システムのマイページよりダウンロードできるようになります。このため、出願書類を本学に郵送いただく期間を見込んで余裕をもってWEB出願登録を行い、出願書類の印刷及び郵送を行ってください。

3.3.1.入学検定料の支払い

●**総合型選抜第一次選抜入学検定料：10,000円**

●**納入方法**

クレジットカード、ペイジーまたはコンビニエンスストアのいずれかを選択できます。
※入学検定料の支払いには手数料が発生し、出願者の負担となります。
※納入された入学検定料はいかなる事由があっても返金いたしません。

3.4 出願書類の郵送

角２封筒(YI-1)に本学指定の宛名ラベル(YI-2)を貼り付けしたものに、以下に記載する出願書類（DI-1～4）を同封し、簡易書留と速達を利用し出願書類一式を本学に郵送してください。

NO.	出願書類一式	様式入手方法	特に留意すること	印刷
DI-1	入学志願票（1枚）	WEB出願システム[出願登録後]		白用紙/A4/片面/カラー
DI-2	誓約書・同意書（1枚）	募集要項サイト	手書き	白用紙/A4/片面/カラー
DI-3	審査申請書①受験者記入用(3枚)	募集要項サイト	手書き	白用紙/A4/片面
DI-4	審査申請書②指導教員記入用（1枚）【該当者限定】	募集要項サイト	厳封（開封無効）	白用紙/A4/片面
	出身校の調査書等 【該当者限定】	出身校の様式	書類による	出身校による
YI-1	角型2号（角2）封筒（サイズ：240mm×332mm）	市販のものを各自で準備	-	-
YI-2	本学指定の宛名ラベル（総合型選抜第一次選抜専用）	WEB出願システム[出願登録後]	「DI-1：入学志願票」の２ページ目	白用紙/A4/片面/カラー

●募集要項サイト
https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/admission/admissions/guidebook.html

※DI-4は出願者の出願資格①により異なります。以下より該当するいずれかの書類を提出してください。

出願資格①		DI-4：提出書類
高等学校もしくは中等教育学校を卒業見込みの方		審査申請書②指導教員記入用（1枚） ※厳封（開封無効）
高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方		最近3ヵ月以内に学校長が作成した出身校の「調査書」※厳封（開封無効）
高等学校卒業程度認定試験	受験している方	「受験票の写し」 ※厳封不要
	既に合格した方	「合格成績証明書」※厳封（開封無効）

※出願書類の記載内容は正確に記入してください。不備等がある場合、本学より確認の連絡を行いますが、不備の解消ができない場合は、出願書類を受理しないことがあります。
※厳封設定された出願書類は、厳封された封筒のまま出願書類に同封してください。（開封された書類は無効となり再提出いただきます。）
※写しと記載のある出願書類以外は原本を提出してください。（コピー不可）
※提出された出願書類はいかなる事由があっても返還いたしません。提出前に出願者にて複写することを推奨します。
※出願書類が郵送期間初日以前に本学へ届いた場合、大学で保管し出願の郵送期間初日に受付けます。
※出願書類の到着確認は対応しておりません。郵便局の郵便追跡サービスをご利用ください。
※出願書類の郵送期間最終日の指定時刻より遅く到着した出願書類は受理されません。
※WEB出願登録・入学検定料の支払い・出願書類の郵送の全てが出願期間内に完了いただくことで出願を受理します。
WEB出願登録のみ完了等、一部の手続きのみ実施完了している場合も出願は受理しません。

3.4.1.審査申請書①受験者記入用(3枚)記入上の注意

1．記入にあたっての注意
・出願者本人が黒のボールペンを用いて、楷書で丁寧に記入してください。
・鉛筆書きや消えるボールペン等で記入された改ざん可能な状態のもの、黒ボールペン以外で記入してあるものは不備となります。
・修正は二重線を記入し、訂正印を押してください。修正液等は利用しないでください。
・「審査申請書①受験生記入用」の各質問について、与えられた行内におさまるように記入してください。

2．「出身校」の欄について
・高等学校もしくは中等教育学校卒業（または卒業見込み）以外の方、たとえば高等専門学校３年修了や高等学校卒業程度認定試験（大検合格含む）で受験資格を取得（または取得見込み）の方は、この欄を利用し、適宜修正して書いてください。

3．「現住所」の欄について
・出願者本人にすぐに連絡がとれる、WEB出願時に登録した現住所と電話番号を記入してください。

4．「現在の身分」の欄について
・「4. 社会人」は職業も記入してください。
・1～4のどれにも該当しない方は、5.その他の［　］内に具体的に記入してください。

3.4.2.審査申請書②指導教員記入用(1枚)記入上の注意

《「審査申請書②指導教員記入用」について》
・高校生・中等教育学校生は、現在在学する学校の指導教員に記入してもらってください。
・既卒者と高等学校卒業程度認定試験受験者または合格者等は、この用紙の提出は不要です。

《記入を担当する教員の方へ》
「審査申請書②指導教員記入用」は、所定用紙のワードファイルがありますので、ご利用ください。
手書き、PCでの入力のいずれでも問題ありません。

●募集要項サイト
https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/admission/admissions/guidebook.html

《所見記入者について》
所見を記入する教員は、出願者を何らかの形で指導している教員（クラス担任や部活動顧問の先生等）であれば誰でもかまいません。ただし、出願者と本学との連絡を仲介できる教員としてください。

《学習成績の状況について》
受験生志望学科に該当する学部学科の「指定教科」（文学部歴史学科の指定はありません）を下表より確認のうえ教科及び学習成績の状況を記入してください。残りの空欄には、学習成績の状況の高い教科の順に他の教科を記入してください（5科目には限る必要はありません）。最後に「全体」の学習成績の状況を記入してください。

学　部	学　科	指　定　教　科
文学部	英文学科、教育学科	［外国語(英語)］
	総合人文学科	［国語］［外国語(英語)］
経済学部	経済学科	［国語］［数学］［外国語(英語)］
経営学部	経営学科	［国語］［数学］［外国語(英語)］
法学部	法律学科	［国語］［公民］［外国語(英語)］
工学部	機械知能工学科、電気電子工学科、環境建設工学科	［理科］［数学］
地域総合学部	地域コミュニティ学科、政策デザイン学科	［国語］［外国語(英語)］
情報学部	データサイエンス学科	［国語］［数学］［外国語(英語)］
人間科学部	心理行動科学科	［国語］［数学］［外国語(英語)］
国際学部	国際教養学科	［国語］［外国語(英語)］

4．第一次選抜受験

4.1 「第一次選抜面接日時のお知らせ」の準備

第一次選抜は受験票がありません。代わりに「第一次選抜面接日時のお知らせ」を公開します。

この「第一次選抜面接日時のお知らせ」は、WEB出願サイトのマイページで以下の日程でダウンロードできるようになります。ダウンロードした「第一次選抜面接日時のお知らせ」を出願者にて印刷し、試験当日に持参してください。

■ 「第一次選抜面接日時のお知らせ」ダウンロード開始予定日

総合型選抜第一次選抜Ａ日程	総合型選抜第一次選抜Ｂ日程
2025年09月16日（火）16時頃	2025年11月17日（月） 16時頃

※WEB出願サイトに「第一次選抜面接日時のお知らせ」を登録次第、出願時にWEB出願システムに登録頂いたメールアドレスに通知します。
　ただし、上記の日程の翌日になってもメールが届かない場合、マイページにログインし、第一次選抜面接日時のお知らせ」が登録されているか確認をしてください。「第一次選抜面接日時のお知らせ」が確認できない場合は、入試部までご連絡ください。

●WEB出願TOPページ
https://e-apply.jp/ds/tohoku-gakuin/

4.2 選抜日程詳細

日程	面接日	集合時間
Ａ日程	2025年09月20日(土),2025年09月21日(日) 2025年09月27日(土),2025年09月28日(日) 2025年10月04日(土),2025年10月05日(日)	第一次選抜面接のお知らせ記載の面接日時20分前までに受付完了
Ｂ日程	2025年11月22日(土),2025年11月23日(日)	

※上記面接日は計画であり、出願状況により実施しない日や面接期間中に急遽平日に実施する場合があります。また、出願者からの面接日の指定などは一切受け付けません。

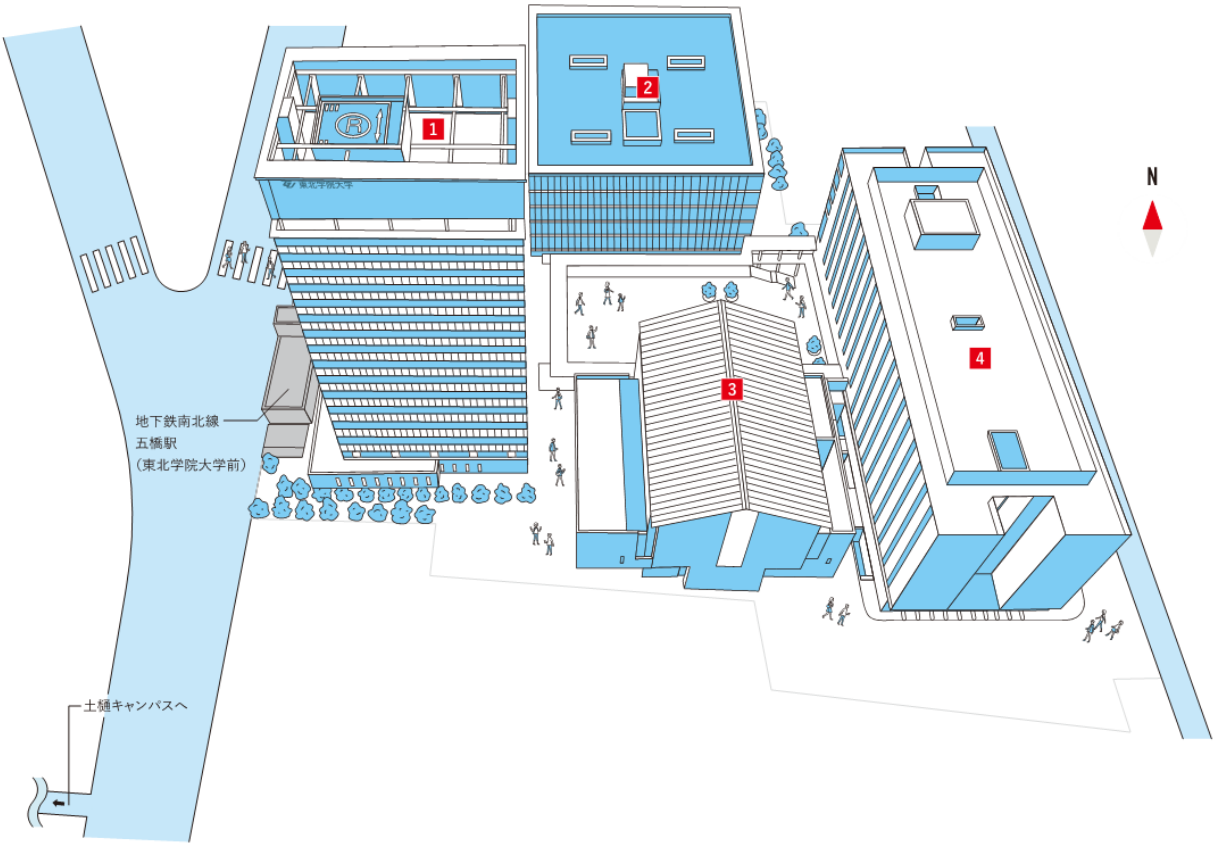
●受験上の注意
(1) 面接日時・場所はWEB出願システムの「マイページ」から「第一次選抜面接日時のお知らせ」をダウンロードして確認してください
(2) 印刷した「第一次選抜面接日時のお知らせ」、筆記用具、身分証明書を持参してください。 ※上履き不要。
その他、自分の実績や資格などを証明するもの（資格取得を証明する書類、賞状などのコピー）があれば持参し、面接の先生に提出してください。
※英文学科受験者で、英語資格・検定試験の成績証明書を保持している方は、面接時に持参してください（証明書のコピーは不可。証明書原本はその場で確認し、返却します。）
(3) 受験をやめることが確定した時点ですぐにアドミッションズ・オフィスに連絡してください。
(4) 当日急遽受験をやめる場合、遅刻しそうな場合は、必ず電話で試験本部まで連絡してください。
試験開始30分以上遅刻した場合は、理由を問わず受験できないことを原則とします。
ただし、自然災害などの不可抗力の事態がおきた場合は、特別の措置を講じることがあります。
その場合は以下に連絡し、試験本部まで連絡して指示を受けてください。

試験本部連絡先 ※当日限定入試部連絡先	022-263-9214	試験当日のみ通話できます

4.3 選抜会場詳細

Ａ日程、Ｂ日程ともに東北学院大学五橋キャンパスにて選抜を実施します。

選抜会場	住所・交通機関	案内図
仙台（五橋）	**東北学院大学五橋キャンパス** 仙台市若林区清水小路3-1 ①JR「仙台駅」から徒歩約15分 ② 地下鉄南北線「五橋駅（東北学院大学前）南2出口」直結 ③バス停「五橋駅」から徒歩約1分	



1 シュネーダー記念館　2 講 義 棟　3 押川記念館　4 研 究 棟

5．第二次選抜出願

5.1 第二次選抜出願について

第二次選抜の出願は「WEB出願登録と入学検定料の支払い」及び「出願書類の提出」を行うことで完了します。
　なお、第二次選抜は「2.3.2.総合型選抜　第二次選抜　A日程」、「2.3.4.総合型選抜　第二次選抜　B日程」のとおり、第一次選抜から出願資格④が追加となっています。後述する「7.2 第一次選抜評価通知日」を参照し、第一次選抜の評価通知結果を確認の上、出願資格を全て満たしている方のみ出願を行えます。

5.2 事前準備

WEB出願には以下を準備いただく必要があります。

NO.	項　目	詳　細
W1	インターネット環境	インターネットに接続されたパソコンやスマートフォン、タブレット端末が必要になります。システム利用環境は以下をご確認ください。 ◎WEB出願システム利用環境 https://e-apply.jp/ds/tohoku-gakuin/public/preparation
W2	カラー印刷環境	白色のA4用紙で提出いただく出願書類を印刷する必要があります。 自宅にプリンターがない場合は、学校や知人、コンビニエンスストアのプリントサービス等、PDFファイルをカラー印刷できる環境を準備してください。
W3	出願者の個人メールアドレス	WEB出願システムのマイページへのログインに利用します。
W4	顔写真データ	次ページの顔写真を満たすものを、WEB出願システムにアップロードいただきます。 ※出願書類への顔写真の貼り付けはありませんので、写真の用意は不要です。 　顔写真データのみご準備ください。 ※第一次選抜と同一の顔写真データでなくても構いません。
W5	第一選抜評価通知書	第一次選抜の評価結果と受験番号をWEB出願登録で入力してもらいます。

■WEB出願登録前に事前確認することを推奨する内容

●登録する保証人の情報（氏名、出願者との続柄、住所、連絡先等）
第一次選抜時の「誓約書・同意書」をサインいただいた保証人から変更せず、同一の方をWEB出願システムで登録してください。

※保証人の住所情報や連絡先情報の変更はWEB出願システムで最新のものに変更いただいても構いません。
※保証人ご本人を出願時点で変更したい場合は、事前にアドミッションズ・オフィスへご相談をお願いします。
※なお、入学手続き時における保証人変更などは、別途入学手続要項等で改めてご案内します。

●出願者本人に関する登録情報
・高等学校もしくは中等教育学校の出身校情報等を入力いただきますので出身校の課程や学科など確認してから出願登録を進めてください。廃校や統廃合で出身校が見つからない場合は「出身校はみつからない場合はこちらから検索」を行い、出身校の都道府県を選択し、「上記以外の高等学校等」を選択してください。
※通信制の出身校の場合は、出身校の設置都道府県が在住の都道府県とは異なる場合があります。

課程　　：全日制、定時制、通信制、その他
学科　　：普通、商業、農業、工業、水産、理数、総合、情報、認定、高専、専修、その他

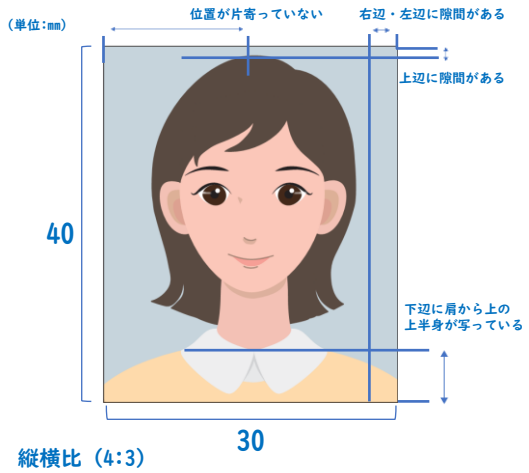
※表示される出身校名は大学入学センターの出身校データを利用しているため、県立などの設置区分や高等学校、高等専門学校などの表記は省略されます。

・ご実家以外にお住まいの場合、現住所とご実家のどちらを登録するかは出願者にお任せします。
本選抜に関連する一連の入試業務において、出願者宛の郵送物の送付予定はありません。
ただし、奨学金候補生等、入学前の本学郵送物の送付先として利用させていただく場合がありますので、確実に郵送物を出願者が確認できる住所を登録してください。

5.2.1.顔写真

出願時に提出頂く顔写真は、「入学者選抜（選考）当日の本人確認」と「大学入学後の学生証」の顔写真として利用します。本人証明として利用する大切な写真となるため、以下の条件を満たす顔写真を準備してください。条件を満たす顔写真であれば、所有するデジタルカメラ、スマートフォン、タブレット等を使用して撮影したものでもかまいません。

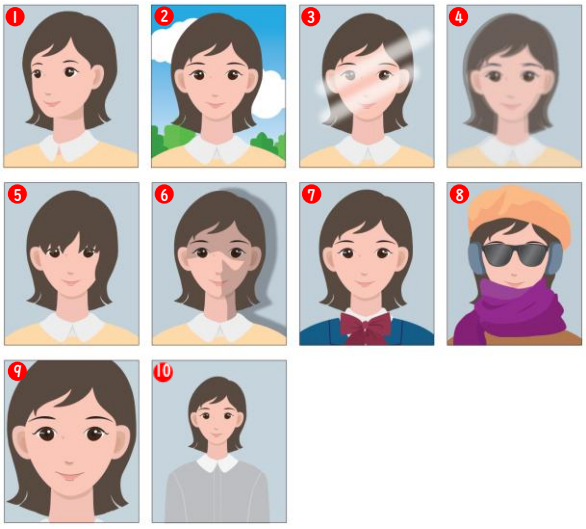
○適当な写真例



◆必須要件
- □ 2025年5月1日以降に撮影したもの。
- □ 出願者本人のみが写っているもの。
- □ 縁なしで左図のイメージを満たすもの。
- □ 肩から上の上半身が写っており、正面を向いているもの。
- □ 無帽であるもの。
  （宗教上又は医療上の理由により要件を満たせない場合、出願前に出願者より大学に申出を行い、大学に事前に認られた場合、顔の輪郭がわかる範囲で頭部を布等で覆うこと許容する）
- □ 輪郭が露出しているもの。（頭部、両耳、鼻、唇、顎）
- □ 両目の瞳が確認できるもの。
- □ 背景（影を含む）は、無地の単色であること。
  （学生証が白地であるため単色でも白色は不可）
  （単色でも背景色のグラデーションは不可）
  （風景やカーテン、模様のある壁紙は不可）
- □ 鮮明なカラー画像であること。（白黒画像は不可）

◆WEB出願登録写真データ要件
- □ 写真データはjpeg/png/bitmap/gifのいずれかであること。
- □ 写真データのサイズ上限が10MB以下であること。

×不適当な写真例



①顔の向きや位置、表情などが適さない。
（傾いている、横向き、目線が正面でない、位置が片寄る、口角があがっており自然体の顔でない等）
②背景が白色を除く無地の単色ではない。
（異物の写り込み、壁の柄模様、頭・髪・服装等と背景の境界が不明瞭なもの）
③白飛びしているものや照明の反射が写り込んでいるもの。
（照明やフラッシュ等の反射等で、白飛びや瞳が確認できない等の理由で個人が判別できないもの）
④ピンボケや手ぶれで不鮮明である。
⑤髪で耳などの顔の輪郭が隠れたり、髪が目にかかっている。
⑥顔や背景に影がある。
⑦高等学校等の制服や制服に見える服装で撮影されたもの。
⑧装飾品を着用しているもの。
（帽子やヘアバンド等で頭部が隠れている）
（装飾品で目、耳、鼻、唇等が隠れている）
（マフラーやタートルネック、パーカーのフードで等で顎の輪郭を隠している）
（カラーコンタクトや瞳の縁を広げるコンタクトを装着したもの）
⑨顔によって撮影しすぎており、肩から上の上半身の全体が撮影されていなかったり、必要な隙間を取っていない。
⑩肩から下の上半身まで写っており、顔が小さすぎるもの。

※この写真は、選抜（選考）の際の本人確認で利用するだけでなく、大学生活４年間で利用する学生証の写真となりますので、出願者の責任において身分証明書に適するものを提出してください。大学から不適当と判断されない限り、WEB出願時から入学前までの変更は受け付けておりません。入学後、学生証の顔写真の変更を希望する場合は、学生課での手続きと再発行手数料が必要となりますが可能です。詳細は大学ホームページ掲載の「学生証の再発行」をご確認ください。
※選抜（選考）時および学生証の身分証明書として利用するため、目を大きく見せたり、美白処理、顔パーツやほくろ、しわ等を修正する等して、本人のイメージを変えたものは不適当です。証明写真作成用アプリを利用する場合においても「画像加工・画像処理」は背景色の変更にとどめてください。
※既にプリントされている証明写真等を再撮影（複写）した画像データは使用できません。
※WEB出願サイトで顔写真をアップロードした際に黒塗の写真になった場合は、顔写真データが指定の形式でない場合があります。データ形式やデータサイズ上限を確認の上、再度アップロードしてください。なお、ファイル名の拡張子の変更のみではデータ形式は変更となりません。データ加工の支援は行いませんので各自で方法をご確認ください。

5.3 WEB出願登録と入学検定料の支払い

WEB出願システムにアカウント登録を行い、WEB出願期間内に総合型選抜第二次選抜に出願登録を行ってください。

●**WEB出願システムTOPページ**：https://e-apply.jp/ds/tohoku-gakuin/

●**留意事項**

※ 年度内に既にアカウント登録済みの場合は新たなアカウント登録は不要です。
別選抜で既にアカウント登録済の方はマイページより総合型選抜第二次選抜の出願登録を行ってください。

※ 出願書類の郵送に必要な「入学志願票」と「本学指定の宛名ラベル」がWEB出願登録後にWEB出願システムのマイページよりダウンロードできるようになります。このため、出願書類を本学に郵送いただく期間を見込んで余裕をもってWEB出願登録を行い、出願書類の印刷及び郵送を行ってください。

3.3.1.入学検定料の支払い

●**総合型選抜第二次選抜入学検定料：20,000円**

●**納入方法**

クレジットカード、ペイジーまたはコンビニエンスストアのいずれかを選択できます。
※入学検定料の支払いには手数料が発生し、出願者の負担となります。
※納入された入学検定料はいかなる事由があっても返金いたしません。

5.4 出願書類の郵送

角２封筒(Y2-1)に本学指定の宛名ラベル(Y2-2)を貼り付けしたものに、以下に記載する出願書類（D2-1～4）を同封し、簡易書留と速達を利用し出願書類一式を本学に郵送してください。

NO.	出願書類	様式入手方法	特に留意すること	印刷
D2-1	入学志願票（1枚）	WEB出願システム[出願登録後]	第二次出願用	白用紙/A4/片面/カラー
D2-2	出身校の調査書等	出身校の様式	書類による	出身校による
D2-3	総合型選抜第二次選抜志望理由書（1枚）	募集要項サイト　※1	手書き	白用紙/A4/片面/カラー
D2-4	第一次選抜評価結果通知書（1枚）	WEB出願システム[評価通知日以降]	写し	白用紙/A4/片面
Y2-1	角型2号（角2）封筒 （サイズ：240mm×332mm）	市販のものを各自で準備	-	-
Y2-2	本学指定の宛名ラベル （総合型選抜第二次選抜専用）	WEB出願システム[出願登録後]	「D2-1：入学志願票」の２ページ目	白用紙/A4/片面/カラー

●**募集要項サイト**
https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/admission/admissions/guidebook.html

※1　総合型選抜第二次選抜志望理由書はWEB出願登録期間に合わせて2025年10月06日の週に公開します。

出願資格①		出身校の調査書等
高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方、 または2026年3月卒業見込みの方		最近3ヵ月以内に学校長が作成した出身校の「調査書」 ※厳封（開封無効）
高等学校卒業程度認定試験	受験している方	「受験票の写し」※厳封不要
	既に合格した方	「合格成績証明書」※厳封（開封無効）

※出願書類の記載内容は正確に記入してください。不備等がある場合、本学より確認の連絡を行いますが、不備の解消ができない場合は、出願書類を受理しないことがあります。
※厳封設定された出願書類は、厳封された封筒のまま出願書類に同封してください。（開封された書類は無効となり再提出いただきます。）
※写しと記載のある出願書類以外は原本を提出してください。（コピー不可）
※提出された出願書類はいかなる事由があっても返還いたしません。提出前に出願者にて複写することを推奨します。
※出願書類が郵送期間初日以前に本学へ届いた場合、大学で保管し出願の郵送期間初日に受付けます。
※出願書類の到着確認は対応しておりません。郵便局の郵便追跡サービスをご利用ください。
※出願書類の郵送期間最終日の指定時刻より遅く到着した出願書類は受理されません。
※WEB出願登録・入学検定料の支払い・出願書類の郵送の全てが出願期間内に完了いただくことで出願を受理します。
WEB出願登録のみ完了等、一部の手続きのみ実施完了している場合も出願は受理しません。

6．第二次選抜受験

6.1 受験票準備と試験会場一覧の確認

本学からは受験票を郵送しておりません。
受験票は、WEB出願サイトのマイページで以下の日程でダウンロードできるようになります。
ダウンロードした受験票を出願者にて印刷し、試験当日に持参してください。

■受験票ダウンロード開始予定日

総合型選抜第二次選抜Ａ日程	総合型選抜第二次選抜Ｂ日程
2025年11月17日（月） 16時頃	2025年12月10日（水） 16時頃

※WEB出願サイトに受験票を登録次第、出願時に登録頂いたメールアドレスに通知します。
ただし、上記の日程の翌日になってもメールが届かない場合、マイページにログインし、受験票が登録されているか確認をしてください。受験票が確認できない場合は、入試部までご連絡ください。

●WEB出願TOPページ
https://e-apply.jp/ds/tohoku-gakuin/

●受験番号別試験会場一覧
受験票のダウンロード日に合わせて、受験者ごとの試験場内の建屋・教室情報を本学入試ホームページ上で公開します。各自確認の上、後述する集合時間までにお越しください。なお、受験番号は受験票に記載しておりますのでご確認ください。

●入試・入学案内トップページ
https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/admission/

6.2 選抜日程詳細

日程	選抜実施日	試験時間			選抜会場
		集合時間	小論文	面接	
Ａ日程	2025年11月20日(木)	9：30	10：00～11：00	12：00～	東北学院大学 五橋キャンパス
Ｂ日程	2025年12月13日(土)				

●受験上の注意
(1) 受験票・筆記用具・時計等を持参してください。（上履きは必要ありません。）
受験票を忘れた場合は、すみやかに係員まで申し出てください。
時計は計時機能のみのものが使用できます。スマートフォン・携帯電話・ウェアラブル端末等は使用できません。
(2) 選抜実施日・選抜会場は受験票で必ず確認してください。
(3) 受験をやめることが確定した時点ですぐにアドミッションズ・オフィスに連絡してください。
(4) 当日急遽受験をやめる場合、遅刻しそうな場合は、必ず電話で試験本部まで連絡してください。
試験開始30分以上遅刻した場合は、理由を問わず受験できないことを原則とします。
ただし、自然災害などの不可抗力の事態がおきた場合は、特別の措置を講じることがあります。
その場合は以下に連絡し、試験本部まで連絡して指示を受けてください。

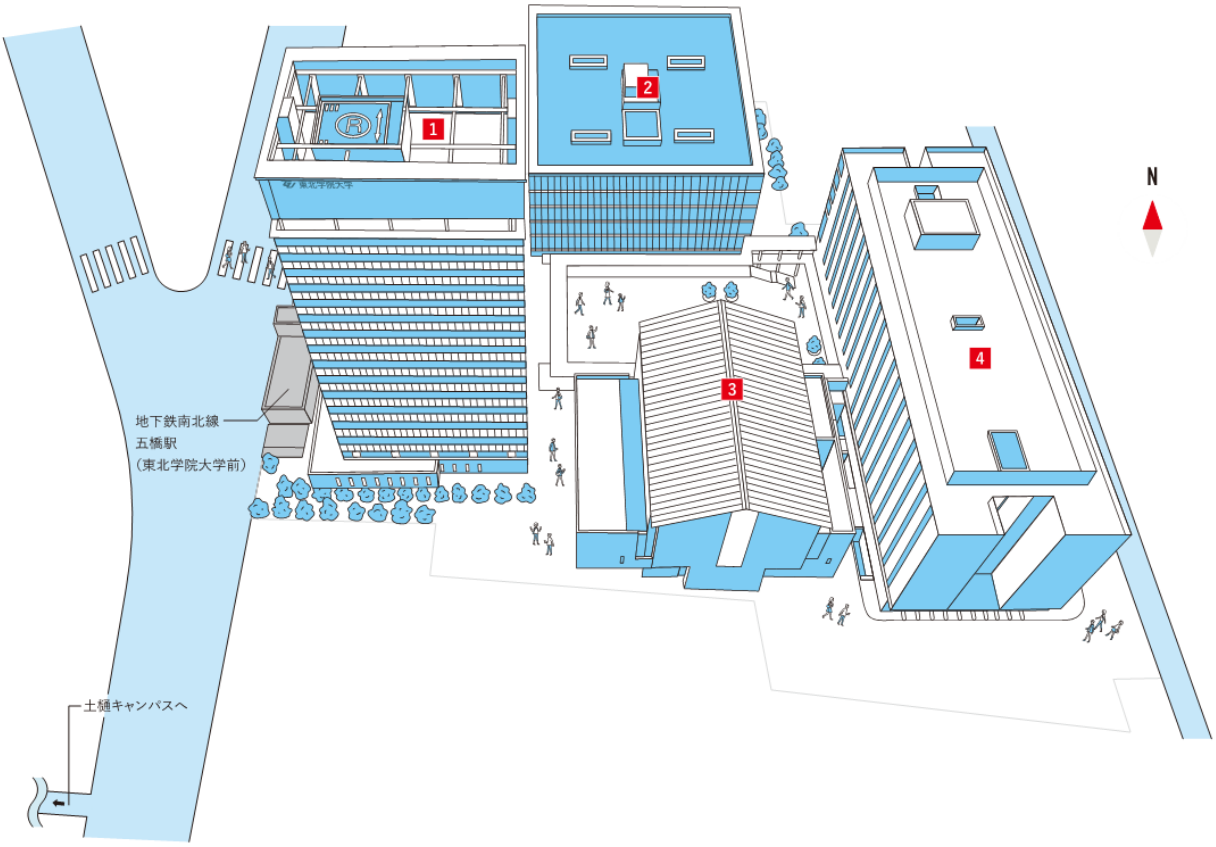
試験本部連絡先 ※当日限定入試部連絡先	022-263-9214	試験当日のみ通話できます

(5) 面接試験がある方は昼食を各自持参してください。
当日面接まで数時間程度お待ちいただく場合があります。

6.3 選抜会場詳細

Ａ日程、Ｂ日程ともに東北学院大学五橋キャンパスにて選抜を実施します。

選抜会場	住所・交通機関	案内図
仙台（五橋）	**東北学院大学五橋キャンパス** **仙台市若林区清水小路3-1** **①JR「仙台駅」から徒歩約15分** **② 地下鉄南北線「五橋駅（東北学院大学前）南2出口」直結** **③バス停「五橋駅」から徒歩約1分**	



1 シュネーダー記念館　2 講 義 棟　3 押川記念館　4 研 究 棟

7．合格発表と入学手続き

7.1 合否照会システムとWEB出願サイト

合否照会は、合否照会システムとWEB出願サイトのいずれかで行えます。

●合否照会システム
合否照会の簡易システムで、受験番号を利用し、一時的に合否照会できるものとなります。
利用詳細は、「7.4.合否照会システム」をご確認ください。

●WEB出願サイト（入学手続き機能）
出願時に利用したアカウントを利用し、「合格通知書」等を確認できます。

7.2 第一次選抜評価通知日

第一次選抜Ａ日程　評価通知日時	第一次選抜Ｂ日程　評価通知日時
2025年10月10日（金）15時	2025年11月26日（水）15時

インターネット上のみで評価通知を行います（第一選抜評価通知書の郵送は行いません。）
評価通知日時以降、以下の内容が公開されますので各自で確認ください。

①合否照会システムを利用したパソコン、スマートフォンでA、B、C、Dの評価結果の確認
②WEB出願サイトにマイページにログインし、「第一次選抜評価通知書」のダウンロード(2026年03月迄可)

ただし、合否照会システムは評価通知日より5日程度しか利用できません。
以降の結果確認ついては、②WEB出願サイトの「第一次選抜評価通知書」をご確認ください。

第一次選抜Ａ日程　合格照会システム照会期間	第一次選抜Ｂ日程　合格照会システム照会期間
2025年10月10日（金）15時　～　2025年10月14日（火）17時	2025年11月26日（水）15時　～　2025年11月30日（日）17時

7.3 合格発表日

第二次選抜Ａ日程　合格発表日時	第二次選抜Ｂ日程　合格発表日時
2025年12月01日（月）10時	2025年12月19日（金）10時

インターネット上のみで合格発表を行います（大学から合格通知書の郵送は行いません。）
合格発表日時以降、以下の内容が公開されますので各自で確認ください。

①合否照会システムを利用したパソコン、スマートフォンで合否の確認
②WEB出願サイトにマイページにログインし、「合格通知書」のダウンロード(2026年03月迄可)

ただし、合否照会システムは合格発表日より5日程度しか利用できません。
以降の結果確認ついては、②WEB出願サイトの「合格通知書」をご確認ください。
※不合格の場合は「合格通知書」が表示されません。

第二次選抜Ａ日程　合格照会システム照会期間	第二次選抜Ｂ日程　合格照会システム照会期間
2025年12月01日（月）10時　～　2025年12月05日（金）17時	2025年12月19日（金）10時　～　2025年12月23日（火）17時

7.4 合否照会システム

合否照会システムは、総合型選抜だけでなく、すべての選抜で利用しているため、総合型選抜の合否照会システム利用期間外でも稼働しているように見える場合があります。

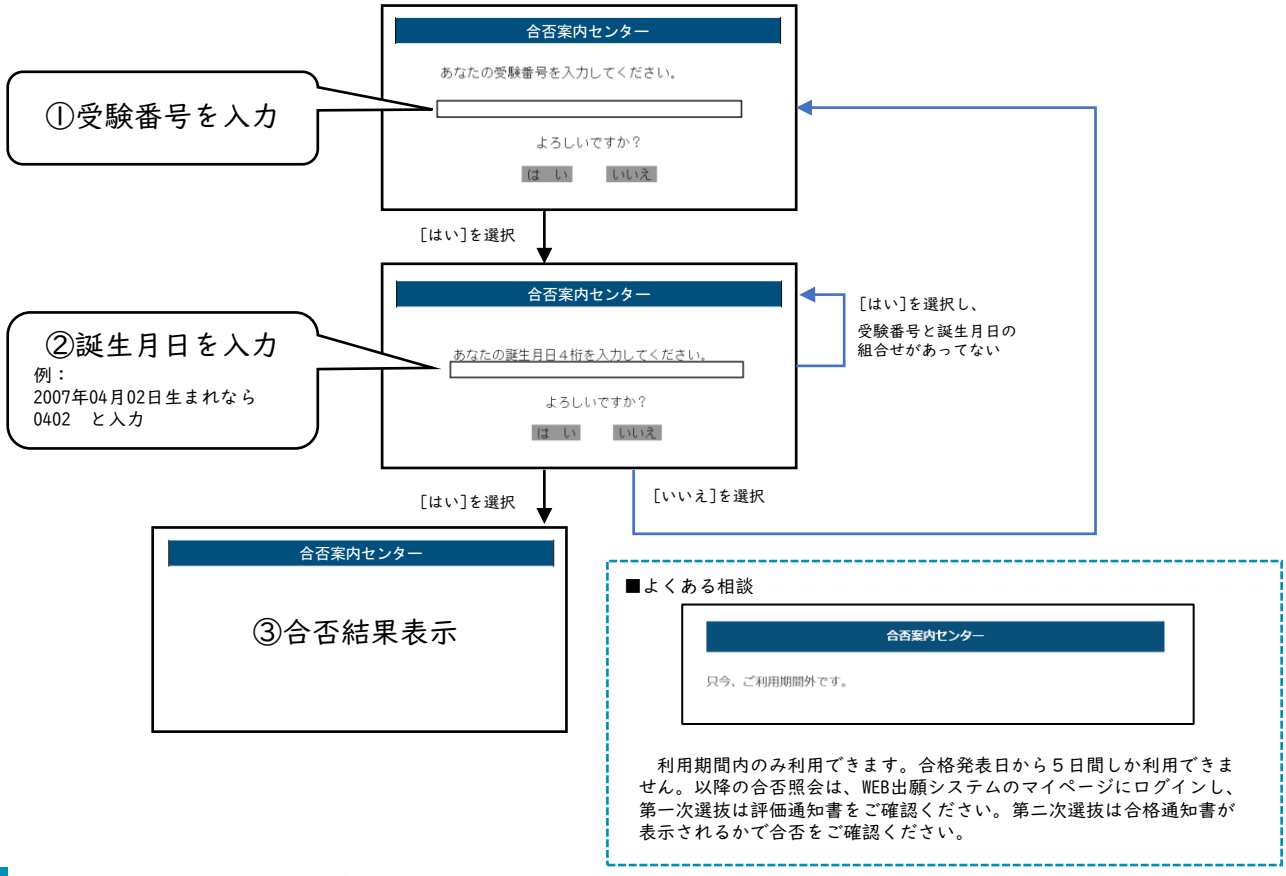
第一次選抜の照会期間は、「7.2.第一次選抜評価通知日」を確認してください。
第二次選抜の照会期間は、「7.3.合格発表日」を確認してください。

■合否照会システムURL

https://www.gouhi.com/tohoku-gakuin/

7.4.1.利用方法

上記のURLのサイトにアクセスし、受験番号（6桁）と誕生月日（4桁）を利用し、合否を照会ください。



利用期間内のみ利用できます。合格発表日から５日間しか利用できません。以降の合否照会は、WEB出願システムのマイページにログインし、第一次選抜は評価通知書をご確認ください。第二次選抜は合格通知書が表示されるかで合否をご確認ください。

7.4.2.利用上の注意

(1)本システムの「誤操作」等を理由とした、入学手続期間終了後の入学手続は一切認めません。
(2)合格発表日（案内開始直後）は、WEBでの通信が遅くなる恐れがあります。そのような場合は少し時間をずらしてご利用ください。
(3)本学への電話等による評価、成績に関する直接の問い合わせには一切応じられません。
(4)個人情報の観点により、大学への受験番号のお問い合わせには応じられません。
保証人の方に共有したい場合などは、出願者より必要な情報を提供してください。
受験生本人以外の方が本システムをご利用の際は、あらかじめ本人と確認・了承をとってください。
(5)選抜別の合否照会システムの照会期間は変更となることがあります。その際は本学のホームページ上にてお知らせいたします。

7.5 入学手続きについて

入学手続は、入学時納付金と入学手続書類の提出によって完了となります。詳細は入学手続きサイトに掲載される「入学手続要項」を参照してください。

●**新入生の皆さんへ**
https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/admission/prepare/

入学時学納金納付方法	第二次選抜Ａ日程　入学手続締切	第二次選抜Ｂ日程　入学手続締切
全納	2025年12月17日（水）15時必着	2026年01月08日（木）15時必着

なお、出願資格を取得見込みで受験した方が、その資格を満たせない場合は、合格が取り消されます。
当該事象が発生した時点で即座に本学アドミッションズ・オフィスにご連絡ください。

東北学院大学の教育と
アドミッション・ポリシー等

■東北学院について

東北学院の建学の精神

東北学院の三校祖、押川方義、W・E・ホーイ、D・B・シュネーダーは、東北学院の建学の精神を、宗教改革の「福音主義キリスト教」の信仰に基づく「個人の尊厳の重視と人格の完成」の教育にあるとした。その教育は、聖書の示す神に対する畏敬の念とイエス・キリストにならう隣人への愛の精神を培い、文化の発展と福祉に貢献する人材の育成を目指すものである。

本学教育の理念・目的

（東北学院大学学則第1章第1条）
東北学院大学は、キリスト教による人格教育を基礎として、広く知識を授けるとともに深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させ、もって世界文化の創造と人類の福祉に寄与することを目的とする。

スクールモットー「LIFE LIGHT LOVE」

東北学院の「建学の精神」を象徴するスクールモットー、「LIFE LIGHT LOVE」とは、イエス・キリストの「命（いのち）」・「光（ひかり）」・「愛（あい）」を指します。キリストの命が私たちに与えられ、キリストの光が私たちを照らし、キリストの愛が私たちを包んでいます。それゆえ私たちもまた人々の命のために仕え、人々に光を与えるために働き、人々を自分のように愛するのです。これは聖書を根拠にした本院に関係するすべての人々に対する教えであり、本院の創設時から大切にされてきた言葉です。

LIFE（いのち）とは、有限な生命体の命と、神が自らの似姿として創造された個人の尊厳を互いに大切にすることです。
LIGHT（ひかり）とは、学問や科学の成果によって新しい時代を切り開くことです。
LOVE（あい）とは、隣人愛をもって地域や世界に仕えることです。

大学礼拝について

キリスト教を建学の精神とする本学では、授業開講日において、土樋キャンパスの礼拝堂と五橋キャンパスの押川記念ホールで定められた時間に、聖書を読み、説教に耳を傾け、祈りをささげます。 本学の学生にとって、この礼拝への参加は、普通の講義への出席と同様、権利であるとともに義務です。選抜当日には、監督者から大学礼拝についての説明があり、質問がある場合には担当教員が応対いたします。

■東北学院大学の教学上の３つの方針について

本学では、アドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーの３つのポリシーがあり、これらのポリシーはそれぞれ全学部共通と学部別の２種類があります。
入学者選抜はアドミッション・ポリシーに基づき実施しますので、以下のサイトよりご確認、ご理解いただいた上で出願してください。

①全学部共通の入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）
https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/about/information/aim/teach_3.html
②全学部共通の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）
https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/about/information/aim/teaching.html
③全学部共通の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/about/information/aim/teach_2.html

文学部アドミッション・ポリシー

学部	項目	学部アドミッション・ポリシー
文学部	1	東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」を基礎とする教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解し、主体性を持ちつつ多様な人々と協働して学ぶことを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）
	2	文学部及び各学科の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、文学部各学科における主体的な学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度） （英文学科）英語力を向上させ、英米文学・言語学を学ぼうとする意欲を持ち、人間と社会が抱える諸問題を解決するための学修に主体的に取り組もうとしている。 （総合人文学科）思想・哲学、文化・芸術、宗教・神学等の人文諸学を学ぼうとする意欲を持ち、人間と社会が抱える諸問題を解決するための学修に主体的に取り組もうとしている。 （歴史学科）歴史学をグローバルかつローカルな視点から学ぼうとする意欲を持ち、人間と社会が抱える諸問題を解決するための学修に主体的に取り組もうとしている。 （教育学科）人間の発達・学習に関する事象と教育の実践について学ぼうとする意欲を持ち、人間と社会が抱える諸問題を解決するための学修に主体的に取り組もうとしている。
	3	高等学校における学習によって、文学部での学修に必要な高等学校卒業相当の基礎的知識及びそれらを応用する力を有している。（知識・技能）
	4	高等学校において得た知識・技能を活用し、達成すべき水準の思考力及び日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）
		以下の項目に該当する者については、5又は6を評価に加える。
	5	スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度）
	6	外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度）

・文学部「教学上の方針」
https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/faculty/letters/about/policy.html

文学部アドミッション・ポリシーと選抜制度別重点評価の関連表

以下の表の項目NO.が上記の文学部アドミッション・ポリシーの項目を示します。

学部	学部アドミッション・ポリシー項目NO	選抜制度別の重要評価点 本学が実施する各選抜制度は、入学者受け入れ方針に定めた各評価点について、次のように（◎：特に重視、○：重視）重視する。											
		一般選抜	大学入学共通テスト利用選抜	総合型選抜	学校推薦型選抜						帰国生特別選抜	外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜
					学業成績による推薦	キリスト者等推薦	資格取得推薦	スポーツ推薦	文化活動推薦	TG併設校推薦			
文学部	1	○	○	○	○	◎		○	○	◎	○	○	○
	2	○	○	◎	◎	○		○	○	○	○	○	○
	3	◎	◎	○	○	○		○	○	○	○	○	○
	4	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	5	—	—	—	—	—		◎	◎	—	—	—	—
	6	—	—	—	—	—		—	—	—	◎	◎	◎

経済学部アドミッション・ポリシー

学部	項目	学部アドミッション・ポリシー
経済学部	1	東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」を基礎とする教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解し、主体性を持ちつつ多様な人々と協働して学ぶことを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）
	2	経済学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、経済に関する社会事象を学ぼうとする関心と意欲を持ち、人間と社会が抱える諸問題を解決するための主体的な学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）
	3	高等学校における学習によって、経済学部での学修に必要な高等学校卒業相当の基礎的知識及びそれらを応用する力を有している。（知識・技能）
	4	高等学校において得た知識・技能を活用し、達成すべき水準の思考力及び日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）
		以下の項目に該当する者については、5又は6を評価に加える。
	5	スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度）
	6	外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度）

・経済学部「教学上の方針」
https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/faculty/economics/about/policy.html

経済学部アドミッション・ポリシーと選抜制度別重点評価の関連表

以下の表の項目NO.が上記の経済学部アドミッション・ポリシーの項目を示します。

学部	学部アドミッション・ポリシー項目NO.	選抜制度別の重要評価点											
		本学が実施する各選抜制度は、入学者受け入れ方針に定めた各評価点について、次のように（◎：特に重視、○：重視）重視する。											
		一般選抜	大学入学共通テスト利用選抜	総合型選抜	学校推薦型選抜						帰国生特別選抜	外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜
					学業成績による推薦	キリスト者等推薦	資格取得推薦	スポーツ推薦	文化活動推薦	TG併設校推薦			
経済学部	1	○	○	○	○	◎		○	○	◎	○	○	○
	2	○	○	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	3	◎	◎	○	○	○		○	○	○	○	○	○
	4	◎	○	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	5	—	—	—	—	—		◎	◎	—	—	—	—
	6	—	—	—	—	—		—	—	—	◎	◎	◎

経営学部アドミッション・ポリシー

学部	項目	学部アドミッション・ポリシー
経営学部	1	東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」を基礎とする教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解し、主体性を持ちつつ多様な人々と協働して学ぶことを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）
	2	経営学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、組織体の経営に関する社会的事象を理解しようとする意欲を有し、人間と社会が抱える諸問題を解決するための主体的な学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）
	3	高等学校における学習によって、経営学部での学修に必要な高等学校卒業相当の基礎的知識及びそれらを応用する力を有している。（知識・技能）
	4	高等学校において得た知識・技能を活用し、達成すべき水準の思考力及び日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）
		以下の項目に該当する者については、5又は6を評価に加える。
	5	スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度）
	6	外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度）

・経営学部「教学上の方針」
https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/faculty/business/about/policy.html

経営学部アドミッション・ポリシーと選抜制度別重点評価の関連表

以下の表の項目NO.が上記の経営学部アドミッション・ポリシーの項目を示します。

学部	学部アドミッション・ポリシー項目NO.	選抜制度別の重要評価点											
		本学が実施する各選抜制度は、入学者受け入れ方針に定めた各評価点について、次のように（◎：特に重視、○：重視）重視する。											
		一般選抜	大学入学共通テスト利用選抜	総合型選抜	学校推薦型選抜						帰国生特別選抜	外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜
					学業成績による推薦	キリスト者等推薦	資格取得推薦	スポーツ推薦	文化活動推薦	TG併設校推薦			
経営学部	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	5	—	—	—	—	—	—	◎	◎	—	—	—	—
	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	◎	◎	◎

法学部アドミッション・ポリシー

学部	項目	学部アドミッション・ポリシー
法学部	1	東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」を基礎とする教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解し、主体性を持ちつつ多様な人々と協働して学ぶことを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）
	2	法学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、法・政治に関する社会事象を学ぼうとする関心と意欲を持ち、人間と社会が抱える諸問題を解決するための主体的な学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）
	3	高等学校における学習によって、法学部での学修に必要な高等学校卒業相当の基礎的知識及びそれらを応用する力を有している。（知識・技能）
	4	高等学校において得た知識・技能を活用し、達成すべき水準の思考力及び日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）
		以下の項目に該当する者については、5又は6を評価に加える。
	5	スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度）
	6	外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度）

・法学部「教学上の方針」
https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/faculty/law/about/policy.html

法学部アドミッション・ポリシーと選抜制度別重点評価の関連表

以下の表の項目NO.が上記の法学部アドミッション・ポリシーの項目を示します。

学部	学部アドミッション・ポリシー項目NO.	選抜制度別の重要評価点											
		本学が実施する各選抜制度は、入学者受け入れ方針に定めた各評価点について、次のように（◎：特に重視、○：重視）重視する。											
		一般選抜	大学入学共通テスト利用選抜	総合型選抜	学校推薦型選抜						帰国生特別選抜	外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜
					学業成績による推薦	キリスト者等推薦	資格取得推薦	スポーツ推薦	文化活動推薦	TG併設校推薦			
法学部	1	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	2	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	3	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	4	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	5	—	—	—	—	—		◎	◎	—	—	—	—
	6	—	—	—	—	—		—	—	—	◎	◎	◎

工学部アドミッション・ポリシー

学部	項目	学部アドミッション・ポリシー
工学部	1	東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」を基礎とする教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解し、主体性を持ちつつ多様な人々と協働して学ぶことを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）
	2	科学技術に関する広い知識の獲得に意欲があり、工学部及び各学科の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、工学部各学科における主体的な学びを通して社会に貢献すること強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度） （機械知能工学科）機械を学び、理解し、創造することへの強い関心と意欲があり、それらを遂行するために必要な基礎知識を有するとともに、社会の一員としての自覚を有している。 （電気電子工学科）電力・制御系、情報・通信系、電子・材料系に関する広い知識の習得に意欲があり、これらの分野の学びを通して社会に貢献することを強く望んでいる。 （環境建設工学科）環境、土木、建築分野で不可欠な科目（数学、力学、計画、設計製図、実験など）を学ぶ強い意志があり、これらの分野の技術者として、社会への貢献を希望している。
	3	高等学校における学習によって、工学部での学修に必要な高等学校卒業相当の基礎的知識及びそれらを応用する力を有している。（知識・技能）
	4	高等学校において得た知識・技能を活用し、達成すべき水準の思考力及び日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）
		以下の項目に該当する者については、5又は6を評価に加える。
	5	スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度）
	6	外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度）

・工学部「教学上の方針」
https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/faculty/engineering/about/policy.html

工学部アドミッション・ポリシーと選抜制度別重点評価の関連表

以下の表の項目NO.が上記の工学部アドミッション・ポリシーの項目を示します。

学部	学部アドミッション・ポリシー項目NO.	選抜制度別の重要評価点 本学が実施する各選抜制度は、入学者受け入れ方針に定めた各評価点について、次のように（◎：特に重視、○：重視）重視する。											
		一般選抜	大学入学共通テスト利用選抜	総合型選抜	学校推薦型選抜						帰国生特別選抜	外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜
					学業成績による推薦	キリスト者等推薦	資格取得推薦	スポーツ推薦	文化活動推薦	TG併設校推薦			
工学部	1	○	○	○	○	◎		○	○	◎	○	○	○
	2	○	○	◎	◎	◎		◎	◎	○	◎	◎	◎
	3	◎	◎	○	○	○		○	○	○	○	○	○
	4	○	○	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	5	—	—	—	—	—		◎	◎	—	—	—	—
	6	—	—	—	—	—		—	—	—	◎	◎	◎

地域総合学部アドミッション・ポリシー

学部	項目	学部アドミッション・ポリシー
地域総合学部	1	東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」を基礎とする教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解し、主体性を持ちつつ多様な人々と協働して学ぶことを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）
	2	地域総合学部及び各学科の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、地域に関する自然・社会事象及び政策を学ぼうとする関心と意欲を持ち、地域が抱える諸問題を解決するための主体的な学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）
	3	高等学校における学習によって、地域総合学部での学修に必要な高等学校卒業相当の基礎的知識及びそれらを応用する力を有している。（知識・技能）
	4	高等学校において得た知識・技能を活用し、達成すべき水準の思考力及び日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）
		以下の項目に該当する者については、5又は6を評価に加える。
	5	スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度）
	6	外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度）

・地域総合学部「教学上の方針」
https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/faculty/regional/about/policy.html

地域総合学部アドミッション・ポリシーと選抜制度別重点評価の関連表

以下の表の項目NO.が上記の地域総合学部アドミッション・ポリシーの項目を示します。

学部	学部アドミッション・ポリシー項目NO.	選抜制度別の重要評価点											
		本学が実施する各選抜制度は、入学者受け入れ方針に定めた各評価点について、次のように（◎：特に重視、○：重視）重視する。											
		一般選抜	大学入学共通テスト利用選抜	総合型選抜	学校推薦型選抜						帰国生特別選抜	外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜
					学業成績による推薦	キリスト者等推薦	資格取得推薦	スポーツ推薦	文化活動推薦	TG併設校推薦			
地域総合学部	1	○	○	○	○	◎		○	○	◎	○	○	○
	2	○	○	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	3	◎	○	◎	◎	○		○	○	○	○	○	○
	4	◎	◎	○	◎	◎		○	○	○	○	○	○
	5	—	—	—	—	—		◎	◎	—	—	—	—
	6	—	—	—	—	—		—	—	—	◎	◎	◎

情報学部アドミッション・ポリシー

学部	項目	学部アドミッション・ポリシー
情報学部	1	東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」を基礎とする教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解し、主体性を持ちつつ多様な人々と協働して学ぶことを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）
	2	情報学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、情報・データサイエンスに関する社会事象を学ぼうとする関心と意欲を持ち、人間と社会が抱える諸問題を解決するための主体的な学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）
	3	高等学校における学習によって、情報学部での学修に必要な高等学校卒業相当の基礎的知識及びそれらを応用する力を有している。（知識・技能）
	4	高等学校において得た知識・技能を活用し、達成すべき水準の思考力及び日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）
		以下の項目に該当する者については、5又は6を評価に加える。
	5	スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度）
	6	外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度）

・情報学部「教学上の方針」
https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/faculty/informatics/about/policy.html

情報学部アドミッション・ポリシーと選抜制度別重点評価の関連表

以下の表の項目NOが上記の情報学部アドミッション・ポリシーの項目を示します。

学部	学部アドミッション・ポリシー項目NO.	選抜制度別の重要評価点											
		本学が実施する各選抜制度は、入学者受け入れ方針に定めた各評価点について、次のように（◎：特に重視、○：重視）重視する。											
		一般選抜	大学入学共通テスト利用選抜	総合型選抜	学校推薦型選抜						帰国生特別選抜	外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜
					学業成績による推薦	キリスト者等推薦	資格取得推薦	スポーツ推薦	文化活動推薦	TG併設校推薦			
情報学部	1	○	○	○	○	◎	○	○	○	◎	○	○	○
	2	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	3	○	○	◎	◎	○	◎	○	○	○	○	○	○
	4	○	○	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	5	—	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	◎	◎	◎
	6	—	—	○	—	—	—	—	—	—	◎	◎	◎

人間科学部アドミッション・ポリシー

学部	項目	学部アドミッション・ポリシー
人間科学部	1	東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」を基礎とする教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解し、主体性を持ちつつ多様な人々と協働して学ぶことを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）
	2	人間科学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、人間の行動とその心理過程、及びそれらを規定する諸要因を学ぼうとする関心と意欲を持ち、人間の心と身体、社会が抱える諸問題を解決するための主体的な学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）
	3	高等学校における学習によって、人間科学部での学修に必要な高等学校卒業相当の基礎的知識及びそれらを応用する力を有している。（知識・技能）
	4	高等学校において得た知識・技能を活用し、達成すべき水準の思考力及び日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）
		以下の項目に該当する者については、5又は6を評価に加える。
	5	スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度）
	6	外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度）

・人間科学部「教学上の方針」
https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/faculty/human/about/policy.html

人間科学部アドミッション・ポリシーと選抜制度別重点評価の関連表

以下の表の項目NO.が上記の人間科学部アドミッション・ポリシーの項目を示します。

学部	学部アドミッション・ポリシー該当NO.	選抜制度別の重要評価点											
		本学が実施する各選抜制度は、入学者受け入れ方針に定めた各評価点について、次のように（◎：特に重視、○：重視）重視する。											
		一般選抜	大学入学共通テスト利用選抜	総合型選抜	学校推薦型選抜						帰国生特別選抜	外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜
					学業成績による推薦	キリスト者等推薦	資格取得推薦	スポーツ推薦	文化活動推薦	TG併設校推薦			
人間科学部	1	○	○	○	○	◎		○	○	◎	○	○	○
	2	○	○	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	3	○	○	◎	◎	○		○	○	○	○	○	○
	4	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	5	—	—	—	—	—		◎	◎	—	—	—	—
	6	—	—	—	—	—		—	—	—	◎	◎	◎

国際学部アドミッション・ポリシー

学部	項目	学部アドミッション・ポリシー
国際学部	1	東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」を基礎とする教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解し、主体性を持ちつつ多様な人々と協働して学ぶことを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）
	2	国際学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、国際化に関する社会事象を学ぼうとする関心と意欲を持ち、人間と社会が抱える諸問題を解決するための主体的な学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）
	3	高等学校における学習によって、国際学部での学修に必要な高等学校卒業相当の基礎的知識及びそれらを応用する力を有している。（知識・技能）
	4	高等学校において得た知識・技能を活用し、達成すべき水準の思考力及び日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）
		以下の項目に該当する者については、5又は6を評価に加える。
	5	スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度）
	6	外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度）

・国際学部「教学上の方針」
https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/faculty/international/about/policy.html

国際学部アドミッション・ポリシーと選抜制度別重点評価の関連表

以下の表の項目NO.が上記の国際学部アドミッション・ポリシーの項目を示します。

学部	学部アドミッション・ポリシー項目NO.	選抜制度別の重要評価点											
		本学が実施する各選抜制度は、入学者受け入れ方針に定めた各評価点について、次のように（◎：特に重視、○：重視）重視する。											
		一般選抜	大学入学共通テスト利用選抜	総合型選抜	学校推薦型選抜						帰国生特別選抜	外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜
					学業成績による推薦	キリスト者等推薦	資格取得推薦	スポーツ推薦	文化活動推薦	TG併設校推薦			
国際学部	1	○	○	○	○	◎		○	○	◎	○	○	○
	2	○	○	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	3	◎	◎	○	◎	○		○	○	○	○	○	○
	4	◎	◎	◎	○	○		○	○	○	○	○	○
	5	—	—	—	—	—		◎	◎	—	—	—	—
	6	—	—	—	—	—		—	—	—	◎	◎	◎

学科の理念・目的、求める学生像①

学部	学科	理念・目的	求める学生像
文学部	英文学科	国際語としての地位にある英語の運用能力の涵養をはかるとともに、他文化・他者性に対して鋭敏な感覚を育むことで、多元的な文化に寛容な真の国際人を育成する。	1.十分な基礎学力を有し、知的好奇心が旺盛である。 2.論理的な思考力を有し、自分の言葉で自分の考えを明確に説明することができる。 3.英語を含む外国語学習に強い意欲をもち実践をしている。 4.本学科のカリキュラムを十分に理解し、4年間の勉学に関するプランをもっている。
	総合人文学科	キリスト教に基づく人間形成を中心に、古今の書物との対話を通して現実世界との関わりを問い直し、変化する世界において自己を見失わず、しかも他者との相互理解・共生を可能とする強固な知的・精神的基礎をもった人材を育成する。	1.十分な基礎学力を有し、とくに英語については充実した力を備えている。 2.十分な読解力を有し、自分の考えを論理的に表現することができる。 3.社会に対して強い関心をもち、積極的にかかわろうとする姿勢を有している。 4.思想・哲学、文化・芸術、宗教・神学などの人文諸学に関心をもち、本学科での勉学に強い意欲を有している。
	歴史学科	広い歴史知識と歴史的な考え方を身につけ、現代社会をグローバルかつ歴史的に理解するとともに、地域の問題を広い視野から考える実践的な能力を養う。	1.幅広い知識を吸収できる柔軟な思考と十分な基礎学力を有している。 2.好奇心旺盛で、自分から率先して学び調べようとする積極性がある。 3.歴史に関する基礎知識を有している。 4.本学科で何を学びたいのか、目的がはっきりしている。
	教育学科	人がよりよく生きるための学びと人間的成長を支援することができる、豊かな知識・技能・姿勢を備えた人物を養成する。	1.十分な基礎学力を有し、知的好奇心が旺盛である。 2.論理的な思考力を有し、自分の言葉で自分の考えを明確に説明することができる。 3.人の学びと教育に関して、強い関心を持っている。 4.本学科のカリキュラムを十分に理解し、4年間の勉学に関するプランをもっている。
経済学部	経済学科	キリスト教精神と幅広い教養教育を基礎に、経済学の専門的知識を修得し、時代に流されず、先を見通す経済社会の理論とスキルを身に付け、多方面において社会に貢献できる人材を養成する。	1.十分な基礎学力を有し、物事を論理的に考え自分の意見を明確に主張することができる。 2.現代社会の動きに強い関心をもち、それについて深く調べたいと考えている。 3.社会とは何か、とくに経済とは何かという問題に対して、探求したいという強い意欲をもっている。 4.本学科の開講科目に強い関心をもち、学ぶ目的がはっきりしている。
経営学部	経営学科	経営学の知識に基づき、企業や地域社会の問題を解決できるようになるとともに、キリスト教からの学びを活かしながらよきビジネスパーソンとして自らのキャリアを切り拓いていくことのできる能力を養う。	1.十分な基礎学力を有している。 2.本学科への志望動機が明確であり、入学後何を学ぶのか、それを将来どのように活かすのかについて、しっかりとしたビジョンを持っている。 3.社会や経済、経営全般に関して興味や疑問を抱き、それらについて自分で積極的に調べることができる。
法学部	法律学科	法的知識と法的思考を生かし、人間の尊厳のために貢献できる人材を養成する。 なお、理念･教育目的を明確に表現するため、次の日本語および英語のモットーを掲げる。 「法的知識と法的思考を、人間の尊厳のために」 “Think legally, for human dignity”	1.学びの基礎となる「国語」「外国語（英語）」「公民」の学力が法学部で学ぶ水準に達している。 2.本や新聞を定期的に読む習慣があり、それを通して法や政治への関心や知識を持っている。 3.将来への目標を有しており、そのために必要となる法学部での学習内容を理解し、学習への意欲を十分に持っている。 4.物事を筋道を立てて説明でき、自分なりの言葉で表現できる。
工学部	機械知能工学科	人類のために、知的なモノづくりを通して、信頼され期待される国際的エンジニアを養成する。	1.機械工学を学ぶために必要な数学、物理、英語の基礎学力を有している。 2.技術者として必要な自立・自律する心を育てることと、社会の一員としての責任を自覚し、積極的に学ぼうとする意欲を有している。 3.本学科を志望する明確な理由やそれを明らかにできる活動や経験があり、それを自らの言葉で表現することができる。
	電気電子工学科	電気電子工学の基礎的知識を持ち、人類社会の発展に十分貢献できる豊かな人間性と正しい倫理観を有する技術者を養成する。	1.電気電子工学を学ぶために必要な数学・物理・英語の基礎学力を有し、自ら学習しようとする積極性を身に付けている。 2.先端科学技術に強い関心をもち、理工系学生にふさわしい強い学習意欲と高い目標を有している。 3.本学科の教育内容を十分に理解し、本学科を志望する理由、勉学動機を有している。
	環境建設工学科	キリスト教精神に基づく倫理観を備え、社会人として必要な教養を身に付けるとともに、基礎的専門知識を着実に習得した実践型の建設系技術者を養成する。	1.本学科で学ぶために必要な基礎学力を有し、環境・土木・建築分野の勉学と仕事に興味と意欲を有する。 2.本学科で学んだ知識を基礎として、様々な技術的課題を関連付けて考察でき、社会の多様な要望に答えるために必要な「考え抜く力」を養う意欲を有する。 3.社会人および技術者として不可欠なコミュニケーション力を養うとともに、信頼される社会人に不可欠な基本的生活習慣を身につける意欲を有する。

学科の理念・目的、求める学生像②

学部	学科	理念・目的	求める学生像
地域総合学部	地域コミュニティ学科	多様な要素から成り立つ地域を深く理解して、地域住民の視点でよりよい地域を構想し、地域の課題を解決していくことのできる人材を育てる。	1.十分な基礎学力を有している。 2.地域で生じている多様な現象・問題に関心をもち、それを深く探求・解決しようとする強い意志を有している。 3.学校内外の活動に積極的に取り組んだ経験をもち、その内容を自らの言葉で表現し説明することができる。 4.本学科の教育内容とその特色をよく理解し、将来も地域に積極的にかかわっていこうとする明確な目的と意欲を有している。
	政策デザイン学科	地域社会を地球規模の社会経済システムとの関係で捉え、さまざまな地域の課題に多様な担い手が協働して取り組むための研究・教育を行うことで、課題の解決に資することができる人材を養成する。	1.十分な基礎学力を有し、本学科の教育内容とその特色をよく理解している。 2.本学科で学びたいという明確な意志をもち、それを自分の言葉で表現することができる。 3.地域が抱える具体的な社会課題に関心をもっている。 4.行政や政治のありよう、経済や社会のしくみ、住民や事業体の協働といった観点から、地域課題の探究および解決への貢献に意欲がある。
情報学部	データサイエンス学科	情報科学、数理科学や社会科学の幅広い学びを通して、社会が抱える種々の課題を自ら実践的に解決し、新たな価値を創造できる人材を育成する。	1.十分な基礎学力と理解力を有し、あわせて情報科学系、数理科学系、社会科学系のいずれかの科目に強い興味と関心をもっている。 2.本学科のカリキュラムを理解し、卒業まで目的意識をもちながら専門的に学ぶ意欲を有している。 3.一般社会においてデータや情報がどのような役割を果たしているかを理解し、関連する諸学問分野に広く興味と関心をもっている。 4.他者の意見や価値観に耳を傾け、自分の考えについて筋道を立てて自分なりの言葉で表現することができる。
人間科学部	心理行動科学科	人間生活の抱える種々の問題に現実的に対処すべく、人間を多角的・実証的に捉える力を備え、健康的な生のあり方を追求する人材を養成する。	1.「国語」「英語」「数学」の学力が人間科学部で学ぶに相応しい水準に達している。 2.ものごとを論理的、実証的に分析するための基礎的思考力と、その内容を自らの言葉で的確に表現しようとする態度を備えている。 3.人間への興味と、未知の側面を探求しようとする意欲・態度をもっている。
国際学部	国際教養学科	英語、中国語、韓国・朝鮮語のいずれか、並びに国際化を意識した日本語の運用能力を高めて、異なる背景を持つ人々との意思疎通手段を増やし、グローバルな問題や動向に配慮しつつ、ローカルコミュニティ（在住地区や所属組織など）に積極的に貢献できる「よき地球市民（Good Global Citizen）」を育成する。	1.十分な基礎学力を有し、英語、中国語、韓国朝鮮語のいずれかを学び続ける意志がある。 2.多様な言語、文化、文明、宗教、国や地域の成り立ちや関係などについて、興味を有している。 3.学びへの意欲と興味が、過去の経験や現在の状況、あるいは将来の展望と結びついている。 4.自分の考えを、筋道を立てて自分なりの言葉で説明することができる。

LIFE LIGHT LOVE

SINCE 1886

東北学院大学